

スカウティング

令和5年1月1日発行 通巻753号(奇数月1日発行) 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

www.scout.or.jp JAPAN

SCOUTING

特集

天皇皇后両陛下御臨席
ボーイスカウト日本連盟

創立100周年記念式典

年頭所感／新春名刺交換
JOTA-JOTI 2022 報告

2023
No.753

1



SCOUTS®
Creating a Better World



そなえよつねに
ボーイスカウト

CONTENTS

- 02 ボーイスカウト日本連盟
創立100周年記念式典
- 04 天皇皇后両陛下御臨席
- 05 御懇談／創立100周年レセプション
- 06 年頭所感
- 08 2023年の主な行事
- 09 スカウトの日～ブラごみマスターズ大作戦～
- 10 世界のスカウト人口
- 11 2023（令和5）年度 国際交流事業計画
- 12 世界とつながるプログラム
JOTA-JOTI 2022
- 14 先達に学ぶ、ボーイスカウト日本連盟100周年
- 15 日本連盟創立100周年記念募金に
ご寄付をいただいた方
- 16 ローカルホットライン
- 16 スカウトの夢
- 18 指導者訓練に参加して
- 19 野外活動のための安心・安全講座
油断しないで！ 自転車で加害事故を
起こしてしまったら…
- 20 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2022
入選作品発表！
- 20 第50回全国ボーイスカウト写真コンテスト
審査員のご紹介
- 21 セーフ・フロム・ハームの取り組み
- 21 信仰奨励
- 22 新春誌上名刺交換
- 30 維持会員
- 31 スカウトショップ



ボーイスカウト日本連盟 創立100周年 記念式典

2022年11月26日（土）、東京・明治神宮会館にてボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典が無事執り行われた。天皇皇后両陛下に御臨席賜り、これまで幾多の先人の業績を顧み、その経験と教訓を現代に活かし、スカウト運動がより良い世界を創造することを目指すことへの決意を新たにされた。そして、現代へと続くスカウト運動の発展に感謝し、その道のりに思いを馳せる一日となった。

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典

100周年記念式典実行委員長 佐野 友保

11月26日(土)明治神宮会館にて、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典が天皇皇后両陛下の御臨席のもと執り行われました。

ボーイスカウト日本連盟としては50周年式典への昭和天皇の御臨席や60周年式典への当時の皇太子同妃両殿下(現、上皇上皇后両陛下)の御臨席、75周年、90周年式典への当時の皇太子殿下(現、天皇陛下)の御臨席に続く栄誉となりました。

100周年記念式典は式典とレセプションからなる二部構成とし、式典の会場は50周年記念式典と同様に明治神宮会館をお借りすることができ、レセプションは明治記念館で実施することとしました。責任者として式典の部会長に神奈川県連盟の藤本理事長(任命時)、レセプションの部会長に東京連盟の白川理事長にお願いしました。部会の編成・予算・計画・実施内容については藤本・白川両部会長に一任しました。

お二人をはじめ部会設立から共に実行いただいた部会員の皆さん、そして式典運営の企画を含め当日の奉仕をいただいた100人を超える関東ブロックのローバースカウトには心より感謝する次第です。

式典当日の神宮の森はどんよりとした雨模様で時折小雨も降る中、早朝より関係指導者やローバースカウトたちの準備が前日に続いて進められました。

2年近くにわたる準備の熱意が通じ、受付が始まる頃には明るくなり、天皇皇后両陛下が会場にお着きになる頃には、日輪が差し込む天気となりました。

約500人の全国のスカウト関係者と来賓、日本連盟役員を迎え、厳重な警備のもと、旧知のメンバーの再会を喜び和やかな雰囲気の中で、広報委員会制作の記念映像の投影が12時40分に開始されました。

両陛下御着席の後、御手洗総裁の式辞で始まり、天皇陛下のおことばを賜りました。

岸田内閣総理大臣、永岡文部科学大臣、塩谷ボーイスカウト振興国会議員連盟副会長・事務総長よりご祝辞をいただいた後、岸田内閣総理大臣に永年の当運動へのご支援に対して日本連盟の最高功労章である「きじ章」を贈呈いたしました。

また、100周年記念特別表彰を一般財団法人セブン・イレブン記念財団様に行いました。当財団様には「スカウトの日」の環境問題への

取り組みに賛同いただき、1994年より30年近くにわたり本事業に総額3億円を超える助成をいただいております。

続いて、私より創立100周年記念事業を紹介させていただきました。

スカウトを代表して、東京連盟松原大輝ボーイスカウト、埼玉県連盟塚本遥香ベンチャースカウト、千葉県連盟皆川真宏ベンチャースカウトが今後の運動への決意の言葉を宣言しました。3人のスカウトには両陛下の御退席時に御声掛けいただきました。

最後に、100周年記念ソング「ボーイスカウト～いま 高き峰へ～」を聞いていただき、締めとして村田総コミッショナーの弥栄にて式典を予定どおり終了しました。

両陛下御退席後、休憩をはさみ、「100周年を迎えて～日本における今後のスカウト運動～」を演題として村田総コミッショナーより記念講演を行っていただきました。今後の活動の指針といたしましょう。

コロナウイルス感染症の拡大に一喜一憂する中、実行委員会のメンバーはもとより関係者のご理解のもと100周年記念式典が開催できましたことに心より感謝を申し上げます。



ボーイスカウト創立100周年記念式典

天皇皇后両陛下 御臨席

令和4年11月26日（土）
明治神宮会館



天皇陛下おことば

ボーイスカウト日本連盟の創立100周年を、皆さんと共に祝いできることをうれしく思います。

日本におけるボーイスカウトの歴史は、大正10年に、当時皇太子でいらしゃった昭和天皇が英国を訪問された際、ボーイスカウト運動の創始者であるベーデン・パウエル卿とお会いになり、スカウト運動に関心を持たれたことが契機となり、翌年、少年団日本連盟が創立されたことに始まると聞いています。以来、ボーイスカウト日本連盟が、100年の長きにわたり、「ちかい」と「おきて」の実践を通じて、青少年の健全な育成に取り組んでこられたことに対し、深く敬意を表します。

私が、日本連盟の行事に初めて参加したのは、今から44年前の昭和53年に静岡県御殿場市で開催された第7回日本ジャンボリーでした。その後も日本ジャンボリーやシニアスカウト大会、また、日本アグーナリーなどの諸行事に参加し、スカウトの皆さんとキャンプをしたり、富士登山をしたりしたことは今でも良い思い出になっています。そして、自然の中で仲間と一緒に知恵を出し合い、体を動かすことの大切さや、スカウト活動の楽しさを体験できたことも、得難い経験となりました。スカウトの皆さんが、様々な活動に積極的に参加し、日本全国、そして世界のスカウトとも友情を育みながら、良き社会人となるために研鑽に励んでいる姿を頼もしく感じました。

日本連盟創立から100年を迎える今日までの間に、青少年を取り巻く環境は大きく変化してきました。地球温暖化や生物多様性の減少が進行し、地球環境の保全・保護活動や環境教育、そして、防災の重要性が一層増してきている中、自然への理解を深め、自然を友として親しむ心や能力を育むスカウトの活動は、大変意義深いものと思います。

今後のスカウト運動の一層の発展と、日本、そして世界の子供たちが健やかに育っていくことを願い、式典に寄せる言葉といたします。

来賓紹介

式典には、内閣総理大臣、文部科学大臣、BS振興国会議員連盟役員など、多くの来賓の方にお越しいただき、スカウトたちに祝辞をいただきました。



岸田 文雄
内閣総理大臣



永岡 桂子
文部科学大臣



塩谷 立
BS振興国会議員連盟
副会長・事務総長

天皇皇后両陛下との御懇談



代表スカウト（後列左から）

- ①中部ブロック代表
浅井 孝栄（ベンチャースカウト）／愛知連盟 名古屋第67団
- ②北海道・東北ブロック代表
平石 一陽（ベンチャースカウト）／北海道連盟 札幌第1団
- ③中国・四国ブロック
三野 真椰（ベンチャースカウト）／愛媛県連盟 松山第28団
- ④九州・沖縄ブロック
豊田 萌（ベンチャースカウト）／福岡県連盟 北九州第55団
- ⑤近畿ブロック代表
岡川 颯夏（ベンチャースカウト）／兵庫連盟 尼崎第26団
- ⑥関東ブロック代表
中島 宥紀（ベンチャースカウト）／群馬県連盟 太田第5団

天皇皇后両陛下による各ブロック代表スカウト6人との御懇談が行われました。

スカウトたちは1人ひとり自己紹介し、佐野専務理事の進行により、スカウトが各自の活動内容を紹介し、その内容について両陛下が御質問される形で行われました。スカウトたちは最初たいへん緊張しておりましたが、進行していくにつれて和やかに御懇談いただくことができました。

天皇皇后両陛下より御声掛けをいただきましたスカウトは、今後の活動の励みとたいへんな榮譽を得ることができました。

ボーイスカウト日本連盟創立100周年レセプション



ボーイスカウト日本連盟
水野 正人 理事長



17時30分からは、明治記念館に場所を代え、レセプションが開始されました。当日は、ボーイスカウト振興国会議員連盟理事・事務局長の笠浩史様をはじめ関係各方面から多数のご来賓の出席をいただき、久米日本連

盟顧問・先達の乾杯により歓談が始まりました。各県連盟のスライドが流れる和やかな雰囲気の中、230人の参加者が100周年を機に、日本スカウト運動の新たなスタートをする決意を分かち合う、楽しい宵となりました。

記念式典小委員会・レセプション部会長 白川 雅之



ボーイスカウト振興国会議員連盟
理事・事務局長
笠 浩史 様



大和ハウス工業株式会社
常務執行役員
原納 浩二 様



株式会社ヤクルト本社
常務執行役員
柳良 昌利 様



一般社団法人霞会館
理事
一條 實昭 様



ボーイスカウト日本連盟
顧問・先達
久米 邦貞 様

心にいつも 「そなえよつねに」

日本連盟 理事長

水野 正人

明けましておめでとうございます。

今年こそこの日本ボーイスカウト運動100周年を機に、次の100年の発展に対してしっかり考えるスタートの年です。

スカウトとして「ちかい」を立て「おきて」を守り、我々のモットーである「そなえよつねに」を胸に青少年が野外で多くの技能を訓練習得し、協調性、リーダーシップを備えて逞しく頼もしい人格を育み、より良い社会作りに活躍するスカウト運動を発展させねばなりません。

ここ数年間取り組んできた日本連盟の財政再建と組織改革も、幾つかの項目は目的を達成し、進行中のものも今後しっかり詰めて参りたいと思います。

特に情報は全て公開し、全県連盟と日本連盟の風通しを良くして相互の協力関係の改善に力を入れていきたいと存じます。

この100年を振り返れば、1921年、昭和天皇が皇太子殿下の時代に欧州歴訪で英国にてボーイスカウト創始者ベーデン-パウエル卿から直接、日本でスカウト運動を勧められ、翌年少年団日本連盟が結成されました。

それ以降、多くの皇族に御臨席を賜り、2022年11月26日の明治神宮会館に於ける創立100周年記念式典にも天皇皇后両陛下の御臨席を賜り誠に光栄でございました。

過去100年には多くの苦難もあり、その度に先達のご尽力で克服したことを考えると、現代のコロナ禍のような世界的流行病に感染防止を徹底しつつ、有効なスカウト運動を継続しなければなりません。

また、地球温暖化に起因する気候変動から世界中に被害の大きな異常現象、記録的集中豪雨による洪水、巨大台風、竜巻、山火事、海面上昇などが起き、時にはスカウトによる救援活動も行われています。人類を含む全生体系の危機に対して国連からSDGsが提唱され、スカウト運動もこれに呼応してできる項目には目標を立てて実践することが求められています。

理不尽なロシアのウクライナ軍事侵襲による戦争が速やかに集結し、混乱している世界経済が安定することも願っています。



スカウト運動ではWOSM（世界スカウト機構）が進めているセーフ・フロム・ハーム（スカウトを危害から守る）を徹底して参りたく、事故、怪我、病気に加え各種ハラスメントが発生しないように力を尽くしましょう。

スカウト運動の創始者ベーデン-パウエル卿が遺した言葉があります。

「幸福を得る本当の道は、他の人に幸福を分け与える事にある。この世の中を、君が受け継いだ時より、少しでも良くするように努力し、後に残す事が出来たなら、死ぬ時が来ても、とにかく自分は一生を無駄に過ごさず、最善を尽くしたのだという満足感を持って、幸福に死ぬ事が出来る。幸福に生き幸福に死ぬために、この考え方に従って、『そなえよつねに』を忘れず、大人になっても、いつもスカウトの誓いと掟を堅く守りたまえ、神よ、それをしようとする君たちをお守り下さい。」

今年も克服しなければならない事項が数多くありますが、積極的に課題に取り組み、本年が皆様にとって実りある一年になるように祈念申し上げます。



日本のスカウティング、 新たな100年に向かって

総コミッショナー

村田 禎章

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は第18回日本スカウトジャンボリー、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念事業など多くの事業実施に当たり、加盟員の皆様、関係機関各位、協力企業の方々をはじめ多くの皆様のご支援とご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年、日本連盟創立100周年を迎えることができましたのは、まさにこの運動を今までつなぎ発展させてくださった先人の汗と努力の結果です。深く感謝をいたしますとともに、これから更なる100年を少しでもより良いものにして次世代に引き継いでいく決意を新たにしております。

現在、日本連盟理事会のもとで新中長期計画の策定作業が行われています。まさに日本連盟の新世纪に向けての取り組みが始まっています。

近年、地球環境、人権、平和等々に関するさまざまな課題に対し世界的、国家的、地域的な取り組みが行われています。また日本においては毎年といえるほど発生する自然災害に対し、防災・減災の取り組みも最重要事項として新中長期計画の基本的な考え方（方針）に位置づけられる予定です。

スカウト教育法における教育の要素が、従来は「ちかいとお

きて」「行うことによって学ぶ」「個人の進歩」「チームシステム」「成人の支援」「シンボリックフレームワーク」「自然」の7つであったところに「社会との協同」という概念が追加されました。これは新たに増えたということではなく、もともと内在していたものを明確に表現したものです。

スカウト運動は人格、健康、技能、奉仕の4つを柱とした累進的自己教育体系であることはすでにご承知おきいただいているところですが、スカウティングを取り巻く現代の社会環境では、特に「社会との協同」を意識し、私たちスカウティングは「どのような役割を果たすべきか」、そのためには「何をしなければならぬか」をこの日本におけるスカウティング新世纪の最初の年に各々が考え行動に移していくことが大切です。もちろん多くの皆様は既に実践されていることと思いますが、日々の活動をさらに磨き上げ、スカウトたちがその年代に応じて自発的に社会性を身に付け積極的により良い社会に向けた行動ができるよう一層のご支援をお願いするところです。

「幸福を得るほんとうの道は、ほかの人に幸福を分け与えることにある。」（B-P ラストメッセージより）

この運動に関わったすべての青少年が幸福な人生を送ることができることを祈念して年頭のご挨拶といたします。

2023年の 主な行事

2022年12月8日 時点

※詳細、名称、ロゴ等は今後変更になる場合があります。

■ ボーイスカウトとあそぼう！ ワクワク自然体験あそび

通年／全国

コロナ禍のなかにあっても、子どもたちが自然の中で安心して遊べる機会を提供することを目的として、2020年に文部科学省委託事業として展開し、2021、2022年には日本連盟事業として多くの子どもたちが参加しました。本年も全国各地の団の協力のもと、継続して実施する予定です。



■ 第25回世界スカウトジャンボリー

世界スカウト機構主催事業

7月28日(金)～8月13日(日)／韓国・全羅北道 セマングム

4年に一度開催される世界最大級の青少年キャンプ大会です。前回は2019年にアメリカで、今回は韓国で開催され、日本派遣団として約1,600人が参加します。世界中のスカウトと野営生活を共にしながら、プログラムに参加します。

■ スカウトの日

9月18日(月・祝)／全国

毎年9月の第3月曜日は「スカウトの日」。全国各地域において、地域社会への奉仕をはじめとしたさまざまな活動を一斉に展開し、スカウト運動が地域に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールします。



■ 全国防災キャラバン2023

調整中／全国

「そなえよつねに」の精神で、防災について考える機会を一般の方々に提供することを目的として、全国のイオンモール等で「全国防災キャラバン」を実施する予定です。



2023

1月

■ RCJフォーラム2022

2月下旬もしくは3月上旬／オンラインにて開催予定

ローバースカウトがその年代における目的を達成し、「Creating a better World by Rovers」を成し遂げるための、きっかけの場としてRCJフォーラムを開催します。

2月

3月

■ 2022年度富士スカウト代表表敬

3月下旬／東京(日程・場所ともに予定)

日本連盟創立60周年記念事業として始めて以来継続している本事業は、感染症に対応しながら、準備を進めています。今回も首相官邸のほか、文部科学省等への表敬を予定しています。

4月

5月

■ 2023年度全国大会

5月27日(土)～28日(日)

／岡山・岡山シンフォニーホール、ホテルグランヴィア岡山他

社会に対して本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、日本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。

6月

7月

■ 難民支援衣料回収プロジェクト2023

春3～5月・秋9～10月(予定)／全国

世界の難民のうち、半数以上が18歳未満の子どもたちです。スカウトと同年代の子どもたちのため、株式会社ユニクロと連携し、本年も難民支援のための衣料回収プロジェクトを実施予定です。



8月

9月

10月

■ ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)／ ■ ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)

世界スカウト機構主催事業 関連ページ P.12、13

10月20日(金)～22日(日)／全世界

世界スカウト機構(WOSM)が主催する公式国際行事です。アマチュア無線やインターネットを活用し、国内外のスカウト仲間と交流することを目的に、毎年10月の第3金曜日から3日間(72時間)開催されます。

11月

12月



2024

現在、予定している2023年度の行事です。日本連盟主催の行事ではありますが、各隊での活動の延長であることをご理解いただき、該当部門のスカウトへは、関連した内容での隊プログラムを計画してみてください。これらの行事を実施、参加するだけでなく、早い時期からの準備やストーリー展開など工夫したしかけを通じ、より興味を持てる取り組みへと導き、日本各地や世界とつながるプログラムをスカウトとともに楽しんでください。

プログラムコミッショナー：川瀬 政美



プラごみバスターズ大作戦 全国の仲間たちが拾ったごみの総数

200万達成

2022年度

スカウトの日 ～プラごみバスターズ大作戦～

全国の仲間たちが拾ったごみの総量 200万を達成 (11月7日時点)

7月11日から始まったこのプログラムは、集中実施日の9月を挟み、11月7日で一つの区切りを迎えました。この先は皆さんからいただいている活動報告やInstagramへの写真投稿、スマートフォンアプリ上のデータを集約して、年度の報告として取りまとめます。また、12月には環境展示会「エコプロ」での展示やワークショップを通じて社会に対して発信しました。活動は続きますが、これまでのスカウトの取り組みの拡がりにつかまてご協力ありがとうございました。



愛媛・西条第6団

■ 各地での取り組み経過報告 (山口会場、滋賀会場)

9月の台風の接近に伴い、安全確保のため延期としていた日本連盟としての実施会場である山口・周防大島、そして滋賀・琵琶湖において、県連盟や地域の団の協力のもと清掃活動を行いました。本プロジェクトの清掃活動では、地域のセブン-イレブン店舗のオーナーや従業員、セブン-イレブン・ジャパン本社社員の皆様にも参加の呼びかけを行い、住民の方々も含めて、地域一体となった取り組みになりました。

山口会場 10月16日(日)
場所/山口県・周防大島町(真宮島)
参加者/164人(子ども・スカウト46人、セブン-イレブン関係者47人、指導者・他71人)

滋賀会場 10月23日(日)
場所/滋賀県・琵琶湖東岸(矢橋帰帆島)
参加者/187人(子ども・スカウト84人、セブン-イレブン関係者28人、指導者・他75人)

■ 全国の団、地区における取り組み

プラごみバスターズ大作戦のこれまでの足跡と、全国の団の皆さんからの投稿(日本連盟WebサイトやInstagramでの実施報告、スマートフォンアプリ「ピリカ」を用いた参加者・ごみの取得データ)を基に、本事業の実施報告をまとめていきます。

また、12月開催の環境展示会「エコプロ」において、本プロジェクトを地域の小中学生に紹介しました。その様子は、次号で報告します。



プラごみバスターズ大作戦特設サイト <https://plagomi.scout.or.jp/>

世界のスカウト人口

世界スカウト機構加盟国と加盟員数

1907年にイギリスで始まったスカウト運動はすぐに世界中に広まり、現在では5,700万人以上のスカウトたちが活動しています。

スカウト活動が行われていないのは、アンドラ、中国、キューバ、北朝鮮、ラオスの5か国のみ。2022年にアンティグア・バーブーダが加盟し、現在、世界スカウト機構(WOSM)には173の国と地域のスカウト組織が加盟しています。

[正加盟] **173**の国と地域 / [合計] **5,700**万人以上

アジア太平洋地域 Asia-Pacific Region	ヨーロッパ地域 European Region	アラブ地域 Arab Region	アフリカ地域 Africa Region	インターアメリカ地域 Interamerica Region
33,849,979人/30か国 事務局：フィリピン	1,883,298人/40か国 事務局：スイス	457,442人/19か国 事務局：エジプト	4,598,943人/40か国 事務局：ケニア	2,017,477人/35か国 事務局：パナマ
アフガニスタン 12,475 インド 3,743,997 インドネシア 25,166,325 オーストラリア 66,008 カンボジア 59,275 キリバス 1,178 シンガポール 11,957 スリランカ 64,807 ソロモン諸島 575 タイ 751,342 韓国 24,379 台湾 54,947 日本 85,966 ニュージーランド 18,197 ネパール 70,937 パキスタン 520,667 バブアニューギニア 5,487 バングラデシュ 2,210,674 東ティモール 6,669 フィジー 1,395 フィリピン 662,052 ブータン 59,672 ブルネイ 1,775 ベトナム 6,997 香港 85,904 マカオ 2,363 マレーシア 129,315 ミャンマー 2,102 モルディブ 10,938 モンゴル 11,604	アイスランド 1,738 アイルランド 45,721 イギリス 504,968 イスラエル 57,819 イタリア 103,231 エストニア 1,106 オーストリア 22,687 オランダ 52,509 キプロス 4,407 ギリシャ 15,173 クロアチア 3,029 サンマリノ 273 スイス 25,554 スウェーデン 40,947 スペイン 66,346 スロバキア 7,465 スロベニア 6,691 セルビア 3,474 チェコ 68,802 デンマーク 50,918 ドイツ 122,127 トルコ 223,417 ノルウェー 16,940 ハンガリー 12,937 フィンランド 54,829 フランス 108,463 ブルガリア 340 ベルギー 119,172 ポーランド 35,939 ボスニア・ヘルツェゴビナ 2,493 ポルトガル 77,352 マケドニア 2,957 マルタ 3,640 モナコ 133 モンテネグロ 1,509 ラトビア 963 リトアニア 3,004 リヒテンシュタイン 738 ルーマニア 6,120 ルクセンブルク 7,367	アラブ首長国連邦 8,983 アルジェリア 68,774 イエメン 8,250 イラク 13,128 エジプト 71,999 オマーン 20,217 カタール 6,220 クウェート 6,298 サウジアラビア 18,737 シリア 12,990 スーダン 15,470 チュニジア 15,403 バーレーン 3,185 パレスチナ 87,081 モリタニア 3,790 モロッコ 23,195 ヨルダン 31,873 リビア 22,801 レバノン 19,048	アンゴラ 23,941 ウガンダ 116,098 エスワティニ 4,302 エチオピア 105,767 ガーナ 16,231 カーボベルデ 337 ガボン 3,736 カメルーン 16,872 ガンビア 15,582 ギニア 8,555 ギニアビサウ 9,698 ケニア 2,248,000 コートジボワール 21,495 コモロ 3,295 コンゴ民主共和国 141,338 サントメ・プリンシペ 1,398 ザンビア 29,621 シエラレオネ 24,535 ジンバブエ 21,244 セーシェル 286 セネガル 10,335 タンザニア 538,959 チャド 14,500 トーゴ 10,929 ナイジェリア 750,073 ナミビア 3,909 ニジェール 3,305 ブルキナファソ 7,674 ブルンジ 85,252 ベナン 7,876 ボツワナ 19,242 マダガスカル 49,970 マラウイ 107,475 南アフリカ 96,881 南スーダン 11,300 モーリシャス 2,483 モザンビーク 8,692 リベリア 7,841 ルワンダ 49,374 レソト 542	アメリカ合衆国 1,599,740 アルゼンチン 62,635 アルバ 438 アンティグア・バーブーダ — ウルグアイ 2,122 エクアドル 8,124 エルサルバドル 1,454 ガイアナ 217 カナダ 75,991 キュラソー 1,065 グアテマラ 3,908 グレナダ 1,378 コスタリカ 17,698 コロンビア 14,362 ジャマイカ 198 スリナム 787 セントビンセント・グレナディーン 253 セントルシア 393 チリ 29,518 ドミニカ 452 ドミニカ共和国 1,476 トリニダード・トバゴ 1,460 ニカラグア 973 ハイチ 43,618 パナマ 1,163 バハマ 680 パラグアイ 5,487 バルバドス 1,651 ブラジル 80,074 ベネズエラ 6,233 ペリズ 356 ペルー 6,767 ボリビア 4,033 ホンジュラス 2,038 メキシコ 40,735
		ユーラシア地域 Eurasia Region		
		12,289人/9か国 事務局：ウクライナ		
		アゼルバイジャン 1,571 アルメニア 1,473 ウクライナ 1,580 カザフスタン 1,010 ジョージア 2,759 タジキスタン 354 ベラルーシ 1,144 モルドバ 363 ロシア 2,035		

※ 最終更新以降の加盟国は人数未集計

※ 掲載は各地域内で五十音順

上の表は、各国スカウト連盟の2020年12月末日現在の人数を世界スカウト機構(WOSM)が集計して2022年の人数として発表したものです。各国の人数を単純に合計すると約4,280万人ですが、人数が正確に更新されていない国があることと、支援・協力者が含まれていないことから、WOSMでは、世界の登録人口として173の国と地域で5,700万人以上のスカウトとボランティアと発表しています。

2023(令和5)年度 国際交流事業計画

2022年12月1日現在

公募により実施する海外派遣事業

2023(令和5)年度の派遣事業として日本連盟が募集要項を作成し、公募により派遣員を選考し実施する予定のものは以下のとおりです。

新型コロナウイルス等の影響により、実施時期の変更、事業の中止・延期となる場合があります。

また、年度途中であっても事業を追加し、ホームページに掲載することがあります。

No.	事業名	派遣予定期間 (大会期間)	派遣先 (主な訪問国)	募集対象				派遣予定人員	日連推薦 締切予定日
				BS	VS	RS	L		

BS…ボーイスカウト VS…ベンチャースカウト RS…ローバースカウト L…指導者

■ 個人による海外派遣

1	2023年度 カンダーシュテーク夏季野営スタッフ派遣 ※	奉仕期間 6/5～9/2 (3か月)	スイス/カンダーシュテーク 国際スカウトセンター			○ ○ (19歳以上 35歳未満)	若干名	募集終了
2	2023年度 スカウト特別海外派遣(霞会館補助事業)	個人プロジェクトによる	個人プロジェクトによる			○ ○ ○	最大2人	4/5
3	2023年度 スカウト・オーストラリア 短期留学(学習旅行)派遣【実施調整中】	例:7/22～8/29 (夏休み期間)	オーストラリア(メルボルン、シド ニー、パース、キャンベラ、ブリスベ ン等)			○	1～2人	4/5

■ グループによる海外派遣

1	第25回 世界スカウトジャンボリー派遣(25WSJ)	7/28～8/13 (8/1～8/12)	韓国 全羅北道 セマングム			○ ○ ○ ○	スカウト1,260人/指導者 140人/IST-CMT 204人 計1,604人	募集終了
2	第23回 ニュージーランドジャンボリー派遣	12/26～2024年1/10 (12/30～2024年1/7)	ニュージーランド 北島ハミルトン			○ ○ ○	スカウト8人/指導者2人 計10人	未定

- ・アメリカジャンボリー(2023年7月19日～28日)及びカンダーシュテークスカウトセンター100周年記念大会は25WSJと時期が重なるため公募しません。
- ・例年8月に実施している韓日スカウトフォーラム派遣の再開は2024年度を予定しています。

■ 国際協カプログラム

1	2023年度 CJK(ローバー)プロジェクト調査派遣 ※	2024年2月頃で 調整中	(対象国調整中)			○ ○	スカウト10人/指導者1人 計11人	未定
---	---------------------------------	------------------	----------	--	--	-----	-----------------------	----

※印は海外派遣貸付金対象事業

日本連盟主催外国スカウト受入事業

No.	名称	期間	内容・招へい国	備考
1	2023年度 CJKベンチャープロジェクト日本開催 日本開催	3か国連盟で調整中 (8月実施調整)	台湾、日本、韓国のベンチャースカウト を対象としたプロジェクトで、2023年度 は日本で開催予定	台湾、日本、韓国からベンチャースカウト 各9人、指導者各1人、合計30人で 実施予定(日本参加者は公募)
2	2023年度 オーストラリア短期交換留学スカウト受入 【実施調整中】	11月下旬 ～2024年1月下旬	オーストラリア連盟よりスカウトを受け入 れる。日本の高校に短期留学をし、スカ ウト活動に参加する	オーストラリアからベンチャースカウト1 ～2人(日本のホスト家庭は県連盟を通じて 依頼)
3	2023年度 日韓スカウト交歓計画	2024年1/6～14 (調整中)	韓国のスカウトと交流プログラムに参加 する	韓国、日本から各40人程度(日本参加者 は県連盟を通じて公募)

日本で開催の国際会議

No.	名称	期間	内容・招へい国	備考
1	2023年度 CJK首脳会議(全国大会への招聘)	5/26～28	岡山市で開催の全国大会の機会に台湾、 日本、韓国の3か国連盟首脳会議を行う	台湾、韓国の各国連盟主要役員を招聘 し、全国大会の機会にCJK3か国連盟の 首脳会議を開催予定
2	2023年度 CJK事務局長会議 日本開催	11月(調整中)	台湾、日本、韓国の3か国連盟事務局長 による会議で、2023年度は日本で開催	台湾、日本、韓国の3か国連盟事務局長 による会議だから毎年持ち回りで開催



25WSJ 日本派遣団のシンボルマーク決定

25WSJ日本派遣団シンボルマークを2022年2月から7月にかけて公募しました。審査の結果、東京連盟小平第5団の田島康正さんの作品が入選し、これを基に右のマークが日本派遣団のシンボルマークとして決まりました。

7月からの派遣に向けて、引き続き、機関誌や日本連盟Webサイトで情報公開していきます。

世界とつながるプログラム

JOTA-JOTI 2022



ジャンボリー・オン・ジ・エア 2022 (JOTA2022)
ジャンボリー・オン・ジ・インターネット 2022 (JOTI2022)

日時：2022年10月14日(金)0:00～16日(日)24:00

場所：日本および世界各地



JOTA-JOTI は、世界スカウト機構 (WOSM) 主催の公式国際行事として毎年行われる、アマチュア無線やインターネットを活用した国内外のスカウト仲間との交流を目的としたイベントです。日本では一昨年(2021年)を上回る27県連盟からの事前参加申請(昨年は26県連盟)があり、2,500人以上のスカウト・指導者が関わるプログラムになりました。

今回は、日本連盟として JOTI 説明会の開催や、アマチュア無線の免許を持たないスカウトも参加できる JOTA 体験局を東京(杉並)、東京(豊島区)、愛知、大阪、鳥取で運営しました。それらのほか、全国で参加したスカウトの写真が届きましたのでご紹介します。

■ みんなの活動報告

JOTA-JOTI Plaza/JOTA 体験会

(全国5会場/大阪会場では初めて JOTA-JOTI 両プログラムを実施)

モールス体験、無線技術の事前学習、アマチュア無線交信の体験会を今年度は全国5会場で実施し、各会場の県連盟、地区、地元指導者の支援により開催しました。今回は、本プログラムの両輪であるインターネットによる JOTI プログラムを実施する会場も設置し、多くのスカウトが参加しました。

JOTA としては、アマチュア無線の免許を持たないスカウトでも体験できる免許を申請し、有資格者の成人指導者やスカウトが横でサポートしながら、無線機器を実際に手に取り、思い思いの交信を行いました。

JOTI の体験では、Skype を用いて画面越しで相手の姿を見ながら大人数での交信、そして国内外のスカウト仲間との交流を楽しんでいました。JOTA 体験局が指定の時間帯で参加するため、参加の前後で JOTI 実施会場へ立ち寄り、時間調整しながら参加したグループもありました。

また、今回もアイコム株式会社から各会場に体験局用無線機の貸与、日本アマチュア無線連盟から指導員の派遣、日本アマチュア無線振興協会から実施会場の提供をいただきました。また、近隣無線クラブからプログラム指導への人員協力があるなど、日本国内において毎年、活動の輪が広がりを見せています。



ここがポイント

- JOTA-JOTIとプログラムを連動することで、一方の興味が強い場合も、もう一方のプログラムも合わせて知り得て体験できるため、個別参加よりも効果大きい。
- 同じ時間帯で参加するインドネシア、マレーシアとの接続が多かった。時差の関係でつながりが悪くなる昼過ぎの時間帯の接続先調整に苦労した。
- プロジェクターによる画面の映写は、交信しているスカウトの交流のしやすさよりも、見学者や指導者にとって非常に効果的であった。
- 接続するパソコンの台数に応じた部屋の広さを確保することで、相手の声が聞き取りやすく話しやすいなど、効果的な交流につながる。
- JOTA-JOTIの活動後に、自団や隊でどのようなプログラムにしていくのか、進級と連動していくのかを合わせてフォローしていくことで参加団・隊を増やしていきたい。

参加者 5会場合計40個隊299人参加(東京94人、愛知45人、大阪118人、鳥取20人、東京サテライト22人)

協力 一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL) / 一般財団法人日本アマチュア無線振興協会(JARD) / アイコム株式会社 / 日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ / 各県連盟 / 大阪連盟ほくせつ地区 / 東京連盟さくら地区

後援 総務省

団での取り組みの様子

(大阪・茨木第9団／毎年団として参加)

多くの隊やスカウトが参加できるよう、特にビーバースカウトが参加しやすい土曜日の午後に時間帯を設定し、地域のコミュニティセンターで活動しました。日本連盟発行の実施マニュアルに合わせて、早い時期からの活動の告知や接続先の募集を行ったことで多くの接続先を見つけられました。



時差の関係からアジア圏との通信が多く、日本人と同じく第二外国語として英語を話していることから年少年代のスカウトにとっては聞き取りやすく、話しやすくて良かったこと、当日突発的に通信してきたグループが多く回数をこなせたことで会話や交流に慣れ、次第にスカウトだけでなく、同席する保護者の方も一緒に次の接続先を探すなど、積極的な交流ができました。

過年度に参加した英語が得意なスカウトたちは、自由に通信ができるよう専用に機材を準備していたものの、後輩のスカウトに対するプログラムのサポートが多くなり、申し訳なかった半面、プログラムのつながりを考えるととても良い伝承になったと思います。

ここがポイント

- 無理して海外のスカウトと通信できずとも、普段は一緒に活動することの無い遠くの団、同じ年代のスカウトと交流することで、非常に盛り上がり活発な活動になる。
- 国内の場合は、方言のクイズや互いの流行りについて紹介したり、自分の好きなものを持ち寄って話をするだけでも、良い刺激になる。
- パソコンを持っていなくても、個々で参加する場合はスマートフォンやタブレットでも十分に楽しめる。大人数の場合はパソコンが最適。
- 音声だけでなく、映像として交流することができるJOTIプログラムは、特にビーバースカウト年代の国際プログラムの第一歩として活用しやすい。

■ フォトギャラリー

プログラム実施前の参加予定者の登録と活動後の実施報告をお願いしています。事前登録の方には、活動実施に向けたヒントや参加証データの送付などを予定しています。ぜひご協力ください。

来年度の開催予定は、2023年10月20日～22日です





先達に学ぶ、ボーイスカウト日本連盟100周年

100周年を迎えたボーイスカウトのこれまでの歩みについて、先達のお話を伺います。今回は、日本連盟の理事や総コミッショナーを歴任された鈴木國夫先達に、特に印象的なエピソードについて教えていただきます。

日本ボーイスカウト運動100年史から

日本連盟先達、千葉県連盟顧問・先達 鈴木 國夫

日本のボーイスカウト運動100余年の歴史において最大の出来事といえますと、1921(大正10)年、皇太子殿下(後の昭和天皇)のご外遊において他にないと思います。殿下は22日間のイギリスご滞在中、B-P 卿を引見されたことをはじめ3回に及ぶボーイスカウト集会の視察をされました。2回目にエジンバラのボーイスカウトの大集会にご出席された殿下より、**令旨(れいし*)**を賜りました。この令旨が日本国内に伝えられ、少年団関係者に組織統一への意識が高まり連盟結成へと繋がったのです。この出来事なくして今日の「記念」はあり得ません。感謝すべき記念の年度です。

無念残念なお話

ボーイスカウト運動がイギリスで創始したのは1907年、少年団日本連盟が結成されたのは1922年、15年の差があります。しかしながら、1908(明治41)年にはボーイスカウト運動は日本に伝わってきていたのです。秋月左都夫(「さとお」との記述も)ベルギー公使から、「この運動は、イギリスだけでなく、ヨーロッパ各国に波及して、世紀の火花となりつつある」との日本政府への報告があり、時の文部大臣は、秋月の義弟である牧野伸顕。牧野文相は、もし青少年の教育に有益なものならば日本でも採用してみようと考え、ちょうどこの年、ロンドンで開かれる万国道徳教育会議に日本代表として出席する広島高等師範学校の北条時敬(「ときたか」との記述も)校長にその調査を依頼したのです。北条校長は運動の起因を調べ、翌年の初夏、帰国のときには、ボーイスカウトに関する書物や訓練用品一式を日本に持ち帰ったのです。

ところが、帰国したときには内閣が替わり、受け入れるところならず!後で分かったのですが、この内閣の通信大臣が誰だろうに、後藤新平伯であり、後に初代の日本連盟総裁(後に総

長)となる人だったとは……。後年、後藤総長は、「もし私を知っていたら、その時すぐボーイスカウトを採りいれただろうに……」と言われた。後藤総長も北条校長も非常に残念がったそうです。この逸話は当時広島高師の附属中学生であった中村知先哲が「日本BS史のひとつま～無念残念13年」と述べています。

無名の初代チーフ・スカウト～下田豊松

日本連盟結成時、その活躍が知られていない人がいます。北海道岩内少年団の下田豊松団長です。第1回国際ジャンボリーに参加した人として知られてはいますが、その後の活躍があまり知られておりません。帰国後、ジャンボリー報告と少年団結成を訴えて、日本全国を行脚し、講演回数は100回を超えました。下田団長は、1921(大正10)年に少年団の全国統一組織「日本健児団」(Boy Scouts of Japan)を創設し、正式加盟国としてイギリスの国際本部に登録しました。ジャンボリーに参加以来、下田団長は日本のチーフ・スカウトとして、B-P 卿はじめ多くの諸外国連盟から認知され、名実共に初代のチーフ・スカウトとなったのです。新たな全国組織として少年団日本連盟が発足した時、本人が築いてきた日本健児団を率いて、新発足の日本連盟の発展に進んで協力しました。94歳の天寿を全うしましたが、日本連盟の歴史の中に、記録の中に、初代のチーフ・スカウトとしては残っていない下田豊松です。しかし、この無名の指導者こそ、日本のスカウティングの世界への第一歩をしるしたパイオニアであった人物です。

ギルウェルコース

1929(昭和4)年の第3回世界ジャンボリー(「国際」から「世界」と改称)に日本から佐野常羽理事を団長に25人が参加しました。派遣団一行は、参加各国の幹部の見事な活動ぶりに

感心させられ、調べるとその幹部のほとんどがギルウェル訓練所修了者であることを知りました。この佐野常羽長老こそ日本における指導者養成の道を拓いた人であります。

この訓練所は、B-P 卿が1919(大正8)年、ロンドン近郊のギルウェルパークに開設したスカウティングの根本道場に由来することはご承知のとおりです。

戦後、ギルウェルパークのコースと同じものを日本で開設したいという積年の念願がかなえられ、第1回日本ギルウェル実修所は1957(昭和32)年、開設されました。

当時、実質的に少年隊の指導に当たっていた私は、『ポケットブック』と『スカウティング』誌を指導書としておりましたが、隊員の指導にはもったいなく勉強したいと願って、第3回に入所の許可を得ました。9日間の実践課程を経て自らのスカウティングが間違っていたことに気付きました。特にパトロール・システムにはまさに身を以って体得し、帰隊し即刻実行に移しました。折しも出版された中村知識ローランド・フィリップス著『班制教育および班長への手紙』と首っ引きでした。班長会議、班長訓練、対班競点の実施……など徹底していくと、次第にスカウトの眼は輝き隊は活性化しました。3年後に成果の一つが表れました。1962(昭和37)年、アジアジャンボリー(兼第3回日本)でパトロール対抗クロスカントリーのプログラムにおいてわが団のパトロールが優勝を遂げたのです。

戦後の日本ボーイスカウトの再建に当たって三島通陽(後に第4代総長)は「再建は真のスカウティングであるべきである。パトロール・システムを真にやるかどうかが団の良否の分かれ目になる」と述べ、その成果を出されました。創始者も『隊長の手引』にて同様に述べています。

私は、中核部門であるボーイスカウト隊の充実こそ、今、最も重要なことであると主張します。

※**令旨(れいし)**ともいう 皇太子の言詞や意を奉じた文書

日本連盟創立100周年 記念事業

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金にご寄付をいただいた方

今回は、7月末以降にお申し込みまたはご入金いただいた方のお名前を県連盟順に記載しております。今回ご紹介しきれなかった方につきましては、次号以降で引き続きご紹介いたします。なお、本募金は2023年3月末まで受け付けております。目標額達成に向けて、皆さまからのより一層のご協力をよろしく願いたします。

【北海道】 大橋 和子 北 秀継 戸田 弥祥 柴崎 勇人 寺迫 公裕 加藤 由麻 棟方 康明 野内 吉徳	【群馬】 新井 誠一 中本 祐太 【埼玉】 三日月 勝三 堀江 誠一 水書 祐美子 濱田 和彦 漆原 雅明 新井 豪 木村 伸司 新井 康正 大熊 博 加藤 義浩 石山 貴宣 川島 英正 高橋 俊夫 角尾 雅也 寺田 典昭 田中 政司 高橋 寿郎 田中 満穂 山崎 雅弘 平松 義明 大口 俊徳 B S 入間 2 BS伊奈1育成会	北村 岳人 吉川 純 高野 新平 B S 伊勢原 1 B S 横浜 9 4 【山梨】 松木 淳一 【東京】 小菅 勇一 松浦 克昌 浅川 博之 稲垣 秀明 大沢 文世 田谷 由紀子 江原 光一 大野 茂 杉山 哲爾 小川 拓人 松原 典 大村 郁夫 鷲山 俊雄 峯崎 孝祐 鳥塚 孝 足立 克彦 横山 竜介 高橋 久雄 勝井 洋光 津守 勝男 橋本 康平 安西 美勝 田淵 六郎 大島 千恵 川田 佐智子 小山 正芳 高崎 尚彦 近藤 秋子 佐藤 勝昌 岡田 修 加藤 行雄 餘多分 正敏 松下 善守 大神 田久 横溝 宏明 寺西 伸政 佐藤 武信 才郷 正次 加賀 久毅 増田 嘉一郎 花淵 裕一 池田 由美子 内田 敏明 荒 幸 枝迫 順子 入江 生夫 田尻 紀夫	高橋 一郎 佐藤 秀勝 林 敏朗 比地原 草平 唐橋 聡 高井 要介 磯島 優 花淵 修一 望月 洋一 榆原 仁 高鷹 勉 枝迫 雄大 川越 泉 板寺 重樹 小林 徹 佐々木 康夫 丸橋 三津子 油井 隆昭 大川 昌宏 船橋 眞一郎 B S 足立 5 (尚)水戸興産 新宿運輸商事(株) (尚)葵美術 (公)昭和池田記念財団 (株) 歩 【新潟】 小林 基 平田 則行 黒田 玲 長谷川 圭介 長谷川 義明 池 淳一 尾崎 千尋 井上 法英 金澤 理久夫 本間 守 伊藤 聡 大野 嘉彦 関 恵一郎 新潟総合警備保障(株) 【富山】 東海 直樹 【石川】 田村 和栄 稲葉 豊 【福井】 矢崎 正幸 前川 俊弘 川口 長 【長野】 松本 捷幸 BS長野県連盟 中信地区協議会	【岐阜】 勝野 雅和 日比野 守 橋詰 典子 古家 章 古家 恭子 日比野 正治 【静岡】 大山 正晃 油井 和行 渡邊 聡 舘 正義 柴田 尚道 小林 透 川島 一郎 勝又 啓子 富田 三治治 西山 考司 原 浩一 野田 由男 【愛知】 村上 安徳 堀崎 健治 小林 央之 澤 茂夫 かおる 奥田 敏夫 加藤 禎男 中島 資浩 古木 啓介 柴山 力 三井 信之 吉川 岳大 都築 保裕 平賀 進 沼澤 光男 川口 由美 津稱庵 勝博 藤田 智康 井澤 俊大 平井 章生 水谷 恵至 寺原 久男 岩田 明 榎尾 富二 八木 幸雄 船橋 鐸夫 山下 政人 伊吹 登 神谷 能宏 中山 和歌代 佐藤 成何 平野 嘉彦 加納 康昭	安田 武司 小林 弘幸 金江 仁美 岩花 竜章 飯田 泰弘 東頭 信夫 吉田 匠 高多 宣章 松岡 聡 井上 文義 秋月 雅仁 岡原 拓洋 柳原 孝治 波多野 俊彦 海川 俊治 藤高 功一郎 田端 三義 中山 澄昭 瀧本 英清 松山 芳雄 藤田 卓也 B S 津島 3 ルマックス(株) 【三重】 山本 剛 鈴鹿 機修 山口 成治 梅川 逸人 【滋賀】 大塚 聖子 山本 哲 湯 昌美 吉田 明子 【京都】 池村 将勝 山下 琢 樋口 秀明 滝川 幸一朗 松田 美歌 松田 茂孝 佐々木 信彦 高瀬 隆雄 B S 京都 5 0 京都85育成会 橋重十九 (尚)ワイイー・エス 【兵庫】 松井 俊哉 山本 浩介 秋本 学 佐藤 征一郎 佐々木 光好 松浦 大輔 三和 千里 丸尾 洋一	細川 和彦 山田 順也 松島 進 大西 美紀 鈴木 武 佐久間 秀樹 岡崎 亮子 荒川 清治 藤本 真也 日下 孝明 安藤 雅夫 中田 淳子 足立 太郎 重井 宣行 小玉 一夫 岡川 恵美子 【奈良】 佐藤 真一 境 寛 坂口 勝基 西村 雅博 麴谷 久均 岩井 秀 河野 甚造 森 建一 松下 武雄 辻村 泰範 村田 禎章 松浦 幸夫 【和歌山】 阪井 信也 藤田 弘治 松岡 秀典 奥田 雅晴 平野 一夫 山本 一郎 日本BS和歌山連盟 BS和歌山地区協議会 【大阪】 米谷 隆義 福田 雅之 鈴木 敏文 石橋 善晴 地道 裕彦 田村 創 岩田 幸一 檜山 哲 丸山 博司 島崎 浩彰 中田 雅之 菅沼 宏之 牧 孝次 山中 英樹 中野 秀知 山原 誠	嶋田 彰 守口 隆雄 富田 光一 河盛 猛夫 前田 栄子 村田 紘一 黒田 一男 赤塚 広之 奥村 昌寿 大手 晴雄 高山 宗一 瀬山 哲隆 川口 洋 川口 正 西尾 拓真 小川 時弘 赤塚ビジネス(株) 【鳥取】 岡空 謙之輔 【島根】 奥村 俊介 岩田 春子 【岡山】 森定 信吉 立間 勝 坪井 喜久太 【広島】 平野 宏一 登世岡 浩治 靈岳 文悠 泰治 政 【山口】 藤中 義久 【香川】 田中 澄男 村上 清宣 村山 彰 坂間 高博 岡 真一 【愛媛】 今城 英一 龍田 純孝 【福岡】 阪本 博文 山本 慎悟 坂本 國賢 堀川 正道 瀬尾 元治 城戸 高弘 大峰 康男 山領 正太 郡島 三曉 阿部 智起 武末 健志	B S 遠賀 3 【佐賀】 中村 政利 大串 和夫 鶴田 敬郎 團入 智仁 【熊本】 西村 洋子 平野 香瑞 九十九 宗俊 【大分】 首藤 茂 蛸原 顕彦 山形 望仁 津久見 羅 ロータリークラブ 【宮崎】 山本 卓也 津曲 睦己 【鹿児島】 村上 貞彰 内藤 宗保 【沖縄】 玉城 讓治 【日本】 廣瀬 修 柴田 知栄 奥間 大亮 川瀬 茂己 古莊 雅生 (株)ANABAS パナソニック ホールディングス(株) (株)ファンドレックス 神社本庁 真宗大谷派 函館別院 野村ホールディングス(株) 東京町田 ライオンズクラブ 三井不動産(株) 浄土真宗本願寺派 日本BSアマ無線クラブ 住友商事(株) 旭化成(株)
---	---	--	---	--	---	---	--	--

訂正とお詫び

機関誌2022年11月号におきまして、鳥取連盟と島根連盟のお名前を
取り違え、全て鳥取連盟として掲載するという誤記載がございました。深くお
詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。(敬称略)

【鳥取連盟】

島田 一郎
堀尾 敏昭
田村 幹夫

【島根連盟】

瀬央スカウト育成会 坂根 勝
杉原 敏之 川上 幸博
那須 智浩 又賀 航一

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- … 団
- ☒ … 地区
- … 都道府県連盟
- ◇ … その他



京都 ■ 人命救助から学ぶ

京都連盟事務局長 浅川 栄治郎

京都連盟桂川地区向日第1団ベンチャースカウト湯川耕太郎さんが、人命救助に尽力したことにより大阪府高槻警察署から表彰を受けられました。

湯川さんのコメント

「経験から人は学ぶ」とよく言われるが、世の中には簡単に経験出来ないことも多い。だから訓練があるのだと思う。実際に人命救助の場に遭遇してから、僕はこのことを強く感じるようになった。訓練は、技術と自信を与えてくれるが、それでも悲惨な事故を目の当たりにした時、僕は焦りを感じた。もし訓練が無ければ救助は出来なかつたろう。誰もこのような場面に遭遇する可能性はあるから、訓練は必ずやっておくことが大切だと皆に伝えたい。」

群馬 □ アマチュア無線体験集会

太田第5団 ベンチャー隊長 新井 誠一

7月24日(日)、群馬県太田市のまつかぜ野営場にて、太田第5団はボーイスカウト日本連盟創立100周年体験局兼特設局「8N100S」を体験運用しました。日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブの協力により、普段は免許証が必要なアマチュア無線ですが、指揮者の指導のもと、体験局という特別局で交信体験をすることができました。ビーバー隊とカブ隊はカートンドックを作りながら、ボーイ隊、ベンチャー隊、ローバー隊はジャンボリーの装備点検をしながら、交代で交信を楽しみました。普段見たことの無い機材を見たり、全国から聞こえてくる会話を聞いたりしながら、「次は僕!」「私!」などと大盛況でした。体験を通してアマチュア無線に興味を持ち、免許証を取得して技能章を取得できるようにサポートしていきたいと思えます。100周年体験局という貴重な経験をさせていただき、日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブの皆さまには、大変なご尽力に感謝いたします。



スカウトの夢

スカウトたちの夢を、引き続き3月号までご紹介していきます。スカウトの夢を皆で応援していきましょう。



京都 〇 発団 50 周年を迎えて

城陽第1団 団委員長 祝部 昭夫

城陽第1団は、京都市内から奈良に向かう中間地点に位置しており「五里五里の里」と呼ばれる風光明媚なところにある城陽市内唯一の団であります。現在加盟員は約70人程度とピーク時の半分以下となりましたが、BVS 隊から RS 隊まで元気に活動を行っております。

さて当団は1969年11月地元ライオンズクラブの発議により育成会を発足、同年12月に城陽中学校の生徒16人にてボーイスカウト隊が発隊。その翌年大阪府吹田市で万国博覧会が行われた1970年の3月に地区の団審査認定を受けて発団式を挙行しております。

本来ですと2020年が発団50周年となりますが、コロナ禍で1年遅れて地元城陽市の青少年野外活動センター（友愛の丘）にて発団50周年記念式典を開催しました。大変寒い時期ではありましたが、コロナ感染防止を踏まえ招待者や開催時間等の事業規模を大幅に縮小し野外での開催と致しました。

振り返って見ますとこの50年間という長い歴史を紡いで来られたのも県連盟や地区、団関係者や保護者、また地域社会の皆様方のお陰であると感謝しております。



近年青少年を取り巻く環境が大きく変化し、「行動力」や「リーダーシップ」を身に付ける機会も不足しております。我々の活動は、さまざまな体験活動を通じた実践教育であります。この運動を通して「心と人間力」を育み、「生きる力」を身に付け、「次世代を担う人材の育成」と「より良き社会の実現」を目指すことが、「スカウティング」であると考えます。

これからも皆様と共にこの地域社会に根差したスカウト活動を展開し、健全な青少年育成の一助となれるよう努力していきたいと思っております。



兵庫 〇 神戸第54団ビーバー隊 EarthTribe チャレンジバッジ3種制覇

神戸第54団 ビーバースカウト隊長 久保 成毅

2月に隊長用ガイドが発行された『EarthTribe』。チャレンジバッジを制覇しましたので報告します。『世界スカウト環境プログラム』では対象外だったビーバー部門にはノウハウがなく、試行錯誤の繰り返しでしたが、スカウトたちは楽しみながらチャレンジしました。

- 2月：自然観察ハイイクでSTEP1履修。EarthTribe バッジ取得。
- 3月：自然工作で木の枝パチンコを作ったり、「自然や生物に影響を与えない方法」をBVSたちと話し合っってハイキングに出かけたり。ネイチャーチャレンジバッジ取得(1つ目)!
- 4～5月：GWに家庭のごみ分別をお手伝いしたり、清掃ハイイクを実施したり。プラスチックチャレンジバッジ取得(2つ目)!
- 6～7月：科学実験で風車を作り、虫眼鏡で火起こして飯盒炊爨。夏キャンプではソーラークッカーで「焼きリンゴ」にもチャレンジ。エネルギーチャレンジバッジ取得(3つ目)!

Earth Tribe は始まったばかりで悩みも多々あります。ガイドでは7歳以上ですが、年少の隊員も活動しています。チャレンジごと、細目ごとに工夫が必要でした。とはいえ、ビーバースカウト部門にこのような体系的プログラムが導入されたことは非常にありがたいことです。今後も EarthTribe の改良・拡大や、新たなプログラムが開発されることに期待したいです。

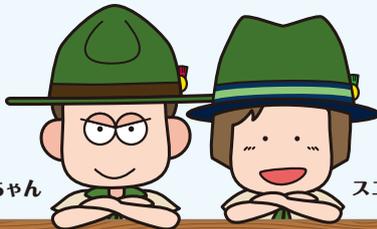


指導者訓練に参加して

指導者訓練は、参加するために指導者自身の時間を費やすことになります。丸1日の場合や何日かにわたる研修もあります。訓練の種類によっては、研修の効果を高めることを目的とした事前の研修（課題、スキルトレーニング）や、3泊以上の野営生活を要するものもあります。このように参加するための条件があることで、指導者訓練に苦手意識を持たれている指導者の方がいらっしゃるかもしれませんが、そこにはその苦勞の分だけ得るものがたくさんあります。今回は時間を費やしても、頑張って指導者訓練に参加された方の感想をお聞きしてみました。

みんなもがんばってるね～

クロちゃん



スエさん

指導者訓練に参加するとたくさんの知識や技能、心構えが身について、モチベーションがアップするのよ!



千葉県連盟
船橋第16団
ローバースカウト
野口愛織

ボーイスカウト講習会

私はビーバースカウトで入隊してから仲間と一緒に楽しく活動に参加していたので、指導者の立場で見たり考えたりしたことがありませんでした。今回の講習会に参加して、ボーイスカウトは座学では身に付かない非認知能力を養うことで、社会に出た時に役に立つスキルが身につくということを学ぶことができました。これからは、指導者としてスカウトたちが社会に役立つ人になるように行動したいと思います。自分が今まで体験して学んできたことを次の世代に繋げられるように、自分のスキルも磨き、いろいろなことに挑戦したいと思います。



奈良県連盟
北葛城第1団
カブスカウト副長
山形明日香

ウッドバッジ研修所スカウトコース奈良第3期

開催場所の「はやまの森」は、5月でも冷たい風が吹き、そのなかで参加したスカウトコースでした。指導者として経験の無い私がスカウトコースに参加したため、参加前は内容が分からず不安でした。しかし、事前課題のサポートを含め、スカウトコースの内容など先輩指導者からのサポートで不安が少しずつ解消されました。朝の点検ではその重要性や視点を教わり、スカウトの時とは違った視点であらゆることを見直すことができました。隊集会実習で行ったハイキングは想定が面白く、大人の私でも楽しめました。ちょっとした想定や工夫がプログラムに大事であることを再認識しました。今年から仕事では看護師として、ボーイスカウトではカブ隊副長として活動中です。引き続きスカウト活動や研修所で学んだことを社会の中で活かしていきたいです。



千葉県連盟
八千代第2団
デンリーダー
崎田恵美

ボーイスカウト講習会

息子がカブ隊に上進し、私はデンリーダーになりましたが、同時に、分からないことだらけで不安になったことを今でも良く覚えています。そのなかで、参加させていただいたのがBS講習会でした。ボーイスカウトの歴史や各隊の仕組み、指導者についてなどを学び、ローワークなどの実技を取り入れたゲームもありました。特に印象的だったのは、戸外へ移動する道中です。周りに大人が歩いていて目的地も分かっているのに、指令書と道しるべを頼りに歩くことが私にはドキドキ・ワクワク感満載! いつの間にか夢中になっていました。ただの移動が、伝え方と少しの工夫でこんなに気持ちが変わるものなのかと、沢山の気づきとスカウト活動へのヒントを得ることのできた1日でした。スカウトが楽しみながら学ぶことの大切さを改めて感じ、仲間と一緒に経験し感じたことを共有できる環境作りにもこれからも努めていこうと思いました。



茨城県連盟
ひたちなか第1団
ローバースカウト隊長
市毛友美

ウッドバッジ実修所 ビーバースカウト課程第46期

私は日々の活動で不安があり、プログラムをもっと勉強したいとの思いから参加しました。実修所では指導者の役割、隊の運営、保護者・地域社会へのアプローチ、プログラムの企画・展開・隊集会実習・評価などを学びました。セッションでは所員の皆様の心こもる熱いメッセージを受け、また同じ志を持つ仲間からも刺激をもらい、沢山の気づきがありました。ボーイスカウトの入り口であるビーバー隊は重要な部門です。責任重大ですが、ここでの学びは私の中で大きな自信となりました。あそびの中から楽しみの種を蒔いて、「ドキドキ」「ワクワク」するプログラムを展開し、子ども達に笑顔を届けていきたいです。さあ、「いつでも準備はできているぞ!」



兵庫県連盟
相生第4団
カブスカウト副隊長
遠藤真帆

ウッドバッジ研修所スカウトコース兵庫第12期

雨の中始まったスカウトコースでしたが、悪天候の中での体験からも学びがあり、苦しい体験や苦い経験もスカウトの成長につながるのだと分かりました。そしてスカウト活動における事前準備・計画の大切さや安全対策の重要性を再確認できました。夜の進級式を体験した時、篝火が焚かれた厳かな雰囲気の中で記章を授けていただいたのは初めての体験でした。儀式的特別な雰囲気も進歩への意欲につながると感じたので大変勉強になりました。3泊4日のキャンプを通して、スカウトの時とは違った視点でスカウトのキャンプを再体験することができ、自分がスカウトだった時の活動も多くのリーダーの支えがあったのだと気がつくことができました。今回の体験を今後の指導者としての活動に活かしていきたいです。



静岡県連盟
富士第6団
ビーバー・ベンチャースカウト隊長
山本真一

ウッドクラフトコース第2期

この春、5月3日～8日の日程で、愛知連盟・新城吉川野営場で実施された『ウッドクラフトコース第2期』に参加させていただきました。このコースは、吉川野営場というとても良い環境の中で、多くのことを楽しみながら学ぶことのできる5泊6日でした。自分自身はスカウトとしてこの運動を体験していませんので、スカウト教育法の要素というものを知識としては理解していたと思いますが、『チームシステム』や『自然』、『行うこと』によって学ぶはもちろん、『シンボルの活用』『成人の支援』、そこからの『個人の進歩』、それぞれの要素がリンクし、達成感や感動を与え、次への意欲となり、それを実体験として感じることで非常に貴重な研修となりました。

■ 野外活動のための安心・安全講座

油断しないで！ 自転車で加害事故を起こしてしまったら…

コロナ禍で活動が制限されていますが、少しずつリアルな活動を再開できるようになってきました。サイクリング活動、あるいは自宅と活動場所との往復で、自転車に乗る機会も増えてきたのではないのでしょうか。

自転車に乗っていると、転倒したり、自動車に接触するなどして、運転者自身がケガをしてしまうことがあります。逆に他の方をケガさせたり、物を破損してしまうこともあります。楽しいスカウト活動を実施するには、自分だけでなく他の方にとっても安全であることが必要不可欠です。

Q 自転車で加害事故を起こした場合、まず何をしなければならぬのでしょうか？

A ケガをした被害者を見ると、動揺してしまうこともあると思いますが、まずは冷静になりましょう。

真っ先にすべきことは、被害者の救護活動と謝罪です。被害者の状態によっては119番通報します。また、警察への報告

義務がありますので、110番通報します。救護義務を怠って現場から離れるとひき逃げになります。このようなことは絶対に避けてください。また、急に飛び出してきたなど、被害者に落ち度がある場合も同様です。

Q 自転車で加害事故を起こした場合、どのような責任を負うのでしょうか？

A 刑事事件としては、過失致死傷罪、重過失致死傷罪などの責任を負うことがあります。ひき逃げをした場合には、ひき逃げについても責任を負うことがあります。

民事事件としては、被害者に治療費や慰謝料などの損害が生じれば、損害賠償責任を負うことになります。最近では、裁判上、高校生が警察官と衝突し最終的に死亡させた事案で約9,300万円、小学生が歩行中の高齢の女性と衝突し重症を負わせた事案で約9,500万円、高校生が自転車を運転していた男性と衝突し重症を負わせた事案で約9,200万円の損害賠償

責任が認められました。大人ではなくまだ成長期にあるスカウト年代による運転でも、大きな事故に発展し得ることにご注意ください。

なお、スカウト活動中の事故については、賠償責任保険によって団や指導者の過失に基づく損害賠償責任が填補されることになります。もっとも、例えば、往復途上の事故に起因する損害については補償の対象にならない、対人賠償の補償額（支払限度額）は1人あたり1億円まで、などとされており、保険に加入していても責任がすべて填補されない可能性があります。

Q そもそも自転車で加害事故を起こさないようにするために、どうすればよいのでしょうか？

A 事前の計画（明るい時間帯か、見通しの良いルートか、余裕を持った行程かなど）、自転車の点検（ブレーキはよく効くか、車体に損傷はないか、ベルはよく鳴るか、ライトは明るく点灯するかなど）、運転方法（道路交通法

を守っているか、スピードを落として走行しているかなど）といった点について注意して、安全運転に対する意識を日頃から高く持つことが大切です。

過去事例

賠償責任保険の過去の統計によると、自転車による加害事故については、歩行者と接触してケガをさせたケース、運転中の自転車に接触して運転者にケガをさせたり自転車を破損させたりしたケース、自動車に接触して自動車を破損させたケースなどが見られます。

チャレンジ章



自転車博士

技能章



安全章



救急章



自転車章

自転車は、自動車やバイクほどの大きさはなく、大人だけでなく子どもであっても、また免許がなくても乗ることができるため、加害事故を起こしてしまうということについて、つい油断しがちです。

しかし、自転車であっても加害事故を起こしてしまった場合には、上記の通り取り返しのつかない結果を生じさせ、重大な責任を負う可能性があります。また、自分自身にケガがなかったとしても、他の方をケガさせたり、物を破損させてしまったりしたとすれば、楽しいスカウト活動が台無しです。自転車は、スカウトも指導者も運転する機会の多い乗り物です。常日頃から安全運転を心がけてください。また、本稿に関連して、この機会にぜひ「安全ハンドブック」を参照して、自転車運転に対する理解を深めてください。

賠償責任については下記をご覧ください。

https://www.scout.or.jp/member/wp/wp-content/uploads/2018/12/2023_tebiki.pdf

ボーイスカウトPRムービーコンテスト2022 入選作品発表!!

新たな手法でスタートした2022年「ボーイスカウトPRムービーコンテスト」。全国から集まった作品から「最優秀賞」「優秀賞」が決まりました。今年は、「いいね」数で動画を選び、その中から、俳優で現役のボーイスカウト指導者でもある審査委員長の金田賢一さんに「最優秀賞」と「優秀賞」を決めていただきました。また、ボーイスカウトを支援してくださる企業により「スポンサー賞」が選ばれました。

優秀賞

『最高の夏体験』

栃木・栃木第1団 栃木 まゆ

スカウトたちがワクワクするような計画をたてよう! と思いながら、実は自分が一番ワクワクしています。今後も楽しんで活動を続けたいです。

ここが Good!! 導入が面白いと思いました。海賊たちは宝箱を探し出せるのか? 自分がカブの時のキャンプを思い出しました。



古代文字で書かれた宝のありかの暗号文をスカウトたちが力を合わせて解読する!

審査委員長



回数を重ねて、クオリティーが向上して審査が難しくなってきました。ローバー隊の指導者として青年たちの作品が候補に上がらなかったこと、少し残念です。来年に期待しましょう。

金田 賢一

最優秀賞 あそびがまなびに!

静岡・志太地区(藤枝・焼津) 酒井 翔太



カブ隊が川下りに挑戦し、成長していく様子を映像にしました! ボーイスカウトのできる素敵な体験を感じてもらえると嬉しいです。

ここが Good!! 映像が綺麗ですね。スカウト達の楽しむ熱が画面から伝わって来ました。生の声を差し込むのも良いですね。

スポンサー賞(ゴーゴーカーレー賞)

コロナを吹き飛ばせ!! 集まれビーバー隊

東京・小平第1団 高久 秀之



コロナによる活動自粛で静かだった団舎に、以前のような笑顔と歓声が戻ってきました。集まれビーバー隊!!

ここが Good!! 火を起こす大変さ、食べられる有り難さ、神仏を大事にする心が、ゴーゴースピリッツと一致していると感じました。



応募いただいた皆さん、投稿に「いいね」して下さった皆さん、ありがとうございました。気軽に動画制作ができるようになり、若い人を中心にさまざまな SNS で投稿されています。これからも、「映像で共有する喜び」を活動の中に盛り込んでいきましょう。入賞作品は、日本連盟 Web サイトでご覧いただけます。 <https://www.scout.or.jp/member/prmc2022/>

第50回全国ボーイスカウト写真コンテスト 審査員のご紹介

募集期間: 2022年11月1日~2023年2月28日

11月1日にスタートした写真コンテスト。第50回を迎える今年、新たな審査員をお迎えました。ボーイスカウトの活動する姿を映した写真を、プロの視点で選んでいただけます。



榑原 透雄氏

自然・風土・旅をテーマとして国内外の撮影をしている自然派写真家。中でも日本の島々の取材を長年続ける。1980年代からは小笠原の魅力にはまり、今なお熱が冷めることなく撮影を続けている。
日本写真家協会(JPS) 会員



古市 智之氏

新聞社のカメラマンを経てフリー。2013年度キャンノンカレンダー作家。第64回日本カレンダー展にて日本印刷産業連合会会長賞受賞。雑誌への執筆や各種フォトコンテストの審査員を多数務める。
日本写真家協会(JPS) 会員



尾崎 憲和氏

日経ナショナル ジオグラフィック 書籍編集長。1992年、早稲田大学第一文学部卒。金融系専門誌、IT 専門誌および Web メディアの編集者を経て、2012年に日経ナショナル ジオグラフィックに転出。2015年より現職。太極拳の指導員。

応募は2月末まで受け付け中です。日ごろの活動の様子を捉えたボーイスカウトの魅力発信につながる作品をお待ちしています。

<https://scout.or.jp/member/50thphotocontest/>

ナショナルジオグラフィック様より、 写真撮影のワンポイントアドバイスをいただきました。

「視点」を変えて、写真を撮ってみよう

写真を撮るときに、普通に立ったまま、カメラもしくはスマートフォンを構えていませんか? 人の目を引く印象的な写真を撮るヒントとして、著名プロフォトグラファーのブライアン・ピーターソンさんは「通常の目線とは違う視点から世界を見ること」とアドバイスを送ります。

高いところに登って見下ろしてみたり、しゃがみ込んで下からあおってみたり、思いっきり近づいてみたり……。例えば、ビルの窓から下を見ると、道を歩いていたときには分からなかった木々の美しい影に気づくことがあります。それまで当たり前のように見えていた風景が新鮮なものに一変、「被写体に潜んでいる線や質感がよりはっきりと浮かび上がってくる」とピーターソンさん。非日常感あふれる、印象的な写真になります。

シャッターを1回切っただけで満足するのではなく、角度や距離を変えて何枚も撮ってみましょう。みんなが驚くような「珠玉の1枚」が映っていることでしょう。

『プロの撮り方 ストリートフォト』

著者
ブライアン・ピーターソン
定価
2,700円+税
発行
日経ナショナル ジオグラフィック

セーフ・フロム・ハームの 取り組み



セーフ・フロム・ハームとは

2017年8月に開催された第41回世界スカウト会議において、「セーフ・フロム・ハーム世界方針」が採択されました。この方針では、各国スカウト連盟に対して、スカウトたちの安全を確保できる政策や施策を実行することを強く推奨し、「セーフ・フロム・ハーム」を展開する上で、以下の3つの側面での実行を必要としています。

- 1 プログラムとしてスカウトに自信を持たせ、自尊心を大切にできるようにすること
- 2 隊指導者や団委員、役員等の18歳以上の指導者（副長補等も含む）がこの分野の理解と実行ができるようにすること
- 3 組織として、危機管理という側面から対応すること

ガイドラインをご覧くださいとわかりますが、「セーフ・フロム・ハーム」は、特別なことではありません。人権を尊重するということであり、人として守るべき社会ルールやマナーです。決して日々の活動に制約を加えるものではなく、危険や危害となるものからの保護、抑止、あるいは防止につながるものです。

危険や危害をなくすためには、一部の人が取り組むだけでなく、この運動に関わるすべての人がこれを実行することが必要です。一人ひとりの行動はもちろん大切ですが、同時に組織としての取り組みが大切です。指導者の皆さまにおかれましては、「セーフ・フロム・ハーム」の趣旨をご理解いただき、取り組んでいただきますようお願いいたします。

セーフ・フロム・ハーム 2023年度登録前研修

現在、加盟登録時に必須の「2023年度登録前研修」の受講が可能です。登録前研修は、全指導者およびローバースカウトが受講対象です。

受講方法は、eラーニングとテキスト版の2通りあります。

- eラーニングは、パソコンだけではなく、スマートフォンやタブレットでも受講できます。受講後に修了証を、所属団の団委員長へ提出してください。
- オンラインで受講できない方は、日本連盟Webサイトからテキスト版データをダウンロードして研修を行い、同意書を団委員長へ提出してください。

スカウト向け教材

スカウト向けにセーフ・フロム・ハームの学習教材を提供しています。

ビーバースカウトおよびカブスカウトを対象とした教材「思いやりの心ってなあに」は、一話完結型の12枚のカードを使用しながら、「ビーバー隊のきまり」や「カブ隊のさだめ」を再確認し、思いやりの大切さを学ぶ内容です。

ボーイスカウトおよびベンチャースカウト向けの教材である漫画「セーフ・フロム・ハームってどんな意味？」と「多面体サイコロで遊ぼう」。特に、多面体サイコロは、コミュニケーションをとりながら遊ぶことで、仲間の意見を聞いたり共感したりするなど、相手の気持ちを感じ取り思いやりの心を育むことに繋げるものです。

これらは、日本連盟Webサイトからダウンロード可能です。



「思いやりの心ってなあに」



「多面体サイコロで遊ぼう」



日本連盟Webサイト：セーフ・フロム・ハーム
<https://www.scout.or.jp/member/sfh/>

信仰奨励

世界平和の日

信仰奨励小委員会 飯盛 安信

日本は四季など豊かな自然に恵まれ、農耕で栄える一方で、地震や台風、火山など災害も多い国です。そのため、人智を超えた存在「神様」や「ご先祖様」に感謝や願いをするためにさまざまな儀式、「年中行事」が行われます。その代表的なものの一つが「お正月」だと思います。

お正月は、旧年が無事に終わって新年を迎えられたことを感謝し、新しい一年の無病息災を願ってお祝いするものと思います。年始に神社仏閣を参拝するのが「初詣（はつもうで）」です。神社やお寺の団では毎年初詣のお手伝いの奉仕をし、スカウトも奉仕とともに初詣をしていることと思います。

カトリック教会でも、元旦ミサが行われ旧年の感謝と新年の祝福をお祈りします。また、この日は「神の母聖マリアの祭日」でもあります。主の降誕（クリスマス）から8日目に、幼な子は「イエス」と名付けられたと、聖書に記されています。そしてもう一つ、ベトナム戦争が激化する最中、平和のために特別な祈りを捧げるよう教皇様が呼びかけて以来、カトリック教会は1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るように祈っています。

私の団を含め、多くのカトリック団では、各ご家庭で新年を迎えるよう、元旦には集会を行わず、1週目か2週目の日曜日に新年の集会をもち、ミサで新年のお祈りの中で世界平和についてもお祈りします。今回このコラムを書きながら、新しい年が始まる日に世界平和を祈ることが、特に今はとても大切なことに気づかされました。パンデミックや気候変動、戦争などの危機、それらによって引き起こされる暴力や不正義、迫害、また難民や移民などの人々の痛みや苦しみ、悲しみなどについて、スカウトたちと共に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。



新春 弥 栄

<p>謹賀新年</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 浄土真宗本願寺派 門主</p> <p>大 谷 光 淳</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 総裁</p> <p>御手洗 富士夫</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>次の100年に向けて そなえよつねに</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事長</p> <p>水 野 正 人</p>																											
<p>謹賀新年</p>  <p>新しい時代のスカウティングを推進しよう</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 世界救世教 管長</p> <p>長 澤 好 之</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>新しい100年への出発</p> <ul style="list-style-type: none"> • 俯瞰するスカウティングを • 体現するスカウティングを • スカウトの“おきて”の実践を <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問・先達 日本ボーイスカウト東京連盟 連盟長</p> <p>杉 原 正</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 副理事長 日本ボーイスカウト大阪連盟 連盟長</p> <p>大 坪 文 雄</p> <p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 副理事長</p> <p>三 毛 兼 承</p>																											
<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問</p> <p>樋 口 武 男</p> <p>『より良い世界の創造を目指して(上)』発刊に感謝 今秋『下巻』『日本ボーイスカウト運動史Ⅲ』刊行</p> <p>日本連盟 顧問・先達 千葉県連盟 顧問・先達 日本連盟創立100周年記念史編纂委員長</p> <p>鈴 木 國 夫</p>	<p>賀 春 “地域力だ! ボーイスカウト”</p> <p>子供は家庭・学校・地域の正三角形の 真ん中で育つ権利があります。</p> <p>コロナ禍にめげずに 運動の真価を浸透させましょう!</p> <p>千葉県連盟名誉会議議員 市川・浦安地区協議会長</p> <p>森 屋 啓</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>活動的で自立したスカウト育成のため ともに取り組みましょう</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>専務理事 佐 野 友 保 常務理事 出 田 行 徳 常務理事 戸 高 有 基</p>																											
<p>謹賀新年</p> <p>若者の為に未来は作れない だが未来の為に若者はつくれる</p> <p>日本連盟評議員 広島県連盟相談役 広島第30团团委員長</p> <p>橋 本 貢</p>	<p>謹賀新年 スカウティングの価値を未来へ!</p> <p>教育推進本部</p> <table border="0"> <tr> <td>総コミッショナー</td> <td>村 田 禎 章</td> <td>ブロック統括コミッショナー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国際コミッショナー</td> <td>松 平 瀬 頼 昌</td> <td>北海道東北ブロック</td> <td>中 橋 邦 朗</td> </tr> <tr> <td>プログラムコミッショナー</td> <td>川 瀬 政 美</td> <td>関東ブロック</td> <td>片 寄 一 志</td> </tr> <tr> <td>AISコミッショナー</td> <td>栗 田 哲 郎</td> <td>中部ブロック</td> <td>長 谷 川 榮 真</td> </tr> <tr> <td>特命コミッショナー</td> <td>氏 家 邦 政</td> <td>近畿ブロック</td> <td>高 田 志 子</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>浦 田 健 司</td> <td>中国・四国ブロック</td> <td>岩 田 春 康</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>森 地 一 夫</td> <td>九州・沖縄ブロック</td> <td>真 田 康 広</td> </tr> </table>	総コミッショナー	村 田 禎 章	ブロック統括コミッショナー		国際コミッショナー	松 平 瀬 頼 昌	北海道東北ブロック	中 橋 邦 朗	プログラムコミッショナー	川 瀬 政 美	関東ブロック	片 寄 一 志	AISコミッショナー	栗 田 哲 郎	中部ブロック	長 谷 川 榮 真	特命コミッショナー	氏 家 邦 政	近畿ブロック	高 田 志 子	〃	浦 田 健 司	中国・四国ブロック	岩 田 春 康	〃	森 地 一 夫	九州・沖縄ブロック	真 田 康 広
総コミッショナー	村 田 禎 章	ブロック統括コミッショナー																											
国際コミッショナー	松 平 瀬 頼 昌	北海道東北ブロック	中 橋 邦 朗																										
プログラムコミッショナー	川 瀬 政 美	関東ブロック	片 寄 一 志																										
AISコミッショナー	栗 田 哲 郎	中部ブロック	長 谷 川 榮 真																										
特命コミッショナー	氏 家 邦 政	近畿ブロック	高 田 志 子																										
〃	浦 田 健 司	中国・四国ブロック	岩 田 春 康																										
〃	森 地 一 夫	九州・沖縄ブロック	真 田 康 広																										
<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 大阪ボーイスカウト振興協会 評議員 株式会社モンパル</p> <p>辰 野 勇</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 監事 相原公認会計士事務所</p> <p>相 原 光 治</p> <p>〒254-0043 平塚市紅谷町9-1-202 Tel 0463-22-6900 Fax 0463-22-6911</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事・財務委員長</p> <p>和 田 剛 和</p>																											
<p>2023年新春期待 ちかい・おきての実践を深め 判断力を高め 日々の改善を怠らず スカウトに未来を託す</p> <p>神戸第54団 育成会長 兵庫連盟 相談役 日本連盟 評議員</p> <p>鈴 木 武</p>	<p>頌 春</p> <p>浄土真宗本願寺派スカウト指導者会 理事長 静岡県連盟 副連盟長</p> <p>土 山 和 雅</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 教育顧問会議議長 大阪ボーイスカウト振興協会 評議員</p> <p>膳 師 功</p>																											

謹賀新年
日本連盟 特別顧問
愛知連盟 連盟長

岡谷 篤一

謹賀新年
日本連盟 評議員長
愛知連盟 理事長

永井 淳

謹賀新年
ボーイスカウト日本連盟 理事

榊原 孝治

Adults in Scouting (AIS) 委員会

委員長 栗田 哲郎 (理事)
副委員長 山下 哲江 (千葉)
委員 黒田 達也 (奈良)
〃 富永 和也 (兵庫)
〃 森田 次郎 (大阪)

日本連盟トレーニングチーム

ディレクター 平田 恭一 (東京)
副ディレクター 石原 有紀子 (大阪)
〃 石志 裕人 (静岡)
〃 藤野 五郎 (香川)
〃 吉野 博樹 (愛知)

謹賀新年
横浜第3団名誉団委員長 (大本山總持寺内)
神奈川連盟先達

武井 重利
E-mail: jl-takei@jcom.zaq.ne.jp

謹賀新年

委員長 川野 政健 (理事)
副委員長 野上 美治 (岡山)
委員 結城 利健 (福岡)
〃 宇山 直 (千葉)
〃 木村 登泰 (東京)
〃 小堤 泰 (宮城)

プログラム委員会

委員 竹内 和夫 (神奈川)
〃 早内 聡晃 (奈良)
〃 松仕 晃美 (東京)
〃 八巻 美知 (静岡)

**ボーイスカウト日本連盟
医療チーム 幹事会**

水谷 惠 至 (愛知)
平沢 邦彦 (福井)
岩井 敏恭 (香川)
松田 和理 (京都)
嶋田 佳子 (京都)
西嶋 由貴 (茨城)
三和 千里 (兵庫)
一之瀬 真弥 (埼玉)
中嶋 広志 (岐阜)
村山 栄子 (埼玉)
村山 章裕 (神奈川)
渡邊 丈真 (愛知)
村上 はる (東京)

立正大学ローバーOB・OG会

会長 **柳 茂久**

連絡先 / 柳 茂久 jh1wvk@jcom.home.ne.jp
安西美勝 yankayoshi-asobsj@docomo.ne.jp

謹賀新年
立正佼成会
佼成スカウト指導者協議会

事務局 / 東京都杉並区和田2丁目11番1号
電話 / 03-5341-1661

Scouting x Mastery for Service

関西学院に在籍しているスカウト
OB・OG各位の登録を募集中!

関西学院スカウトクラブ
会長 上道 小太郎
副会長 上野 智基
幹事長 高橋 昌敏

■お問い合わせは E-mail: kgrovers@gmail.com
Twitter: kwangakurovers

■くわしくは 関西学院スカウトクラブ

イチャリバ チョーデー!
(会えば兄弟)
沖縄スカウトクラブ

顧問 新城 信武 奉仕 金城 正幸
会長 中井 健 監事 伊波 亮
副会長 儀保 博信 会員 與古田 力男
〃 玉城 讓治 〃 金城 宜嗣
会計 古屋 政美 〃 仲程 八十一
行事 里平 秀彰 〃 嘉手苺 修

同志社に在籍するスカウトの入隊を歓迎します

同志社大学ローバースカウト隊
(京都連盟・京都第43団)

育成会長 山科 隆雄 (OB会長)
団委員長 近藤 弘一
隊長 草野 裕司
OB会幹事長 大嶋 正徳

お問い合わせは、E-mail: mohshima@galaxy.ocn.ne.jp
または、携帯: 090-1670-2877 (大嶋幹事長) まで

日本スカウト切手・メモリアクラブ
Scouting Collectors Club of Japan (SCCJ)

日本の少年団運動
増補改訂版「日本の少年団運動 増補改訂版」,
「スカウティング バッチカタログ第2版」,
「スカウト切手と記念消印」
購入ご希望の方、スカウティング関係の切手、ワッペン、資料のコレクションに興味のある方はご連絡を

HP <http://www.sccoj.sakura.ne.jp/>
問い合わせ: 神奈川県中郡大磯町高麗 2-9-7 窪田雄一
:kubota-@mh.scn-net.ne.jp

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ
JA1YSS JA2YSS JA4YSS JH1YSS

会長 松平 頼武
事務局 柳 茂久

岡山で開催される全国大会でお会いしましょう。
問い合わせ 柳 office@jalyss.org

謹賀新年 日蓮宗スカウト連絡協議会
日蓮宗布教方針「いのちに合掌」

〃	〃	事務局	事務局長	宗務局	〃	監事	参与	〃	〃	顧問	〃	〃	副会長	会長
佐藤	西川	西村	深澤	高橋	櫻井	松尾	高倉	中野	藤田	野坂	旭川	市馬	山末	塚本
和藤	幹川	寛村	恭澤	紳橋	義井	史尾	章倉	日野	尚田	法坂	日智	玄川	顕馬	央吉
騎浩	隆川	徳村	徳澤	一郎	久井	生尾	瑞倉	演野	哉田	行坂	重智	康川	翔馬	泊吉

組織拡充委員会

委員長 木村 寿宏 (理事)
副委員長 佐藤 藤之 (奈良)
〃 藤川 晴之 (兵庫)
委員 小川 川弘 (大阪)
〃 影山 時太 (岩手)
〃 川島 雄一 (静岡)
〃 中圓 尾正 (愛媛)
〃 中本 祐太 (群馬)
〃 光来 出忠 (大分)

財務委員会 一同

皆様のあたたかいご支援に感謝します

スカウト 維持会員寄付

資金醸成小委員会

委員長 井上 義雄 (理事)
委員 鈴木 俊明 (埼玉)
〃 徳永 健人 (学識経験)
〃 宮下 真美 (学識経験)
〃 村井 庸平 (学識経験)

広報委員会

委員長 澤山 小武 (理事)
委員 本山 末嶋 (社会連携担当)
〃 〃 〃 (東京)
〃 〃 〃 (福岡)
〃 〃 〃 (静岡)
〃 〃 〃 (兵庫)

社会連携小委員会

委員長 山本 慎太郎 (理事)
委員 澤枝 迫 (社会連携担当)
〃 枝加 藤 (東京)
〃 玉長 川 (東京)
〃 〃 島 (学識経験)
〃 〃 岳 (学識経験)
〃 〃 瑠美 (学識経験)

日本ボーイスカウト北海道連盟

連盟長 吉田源彦
副連盟長 大橋和子
理事長 三今久介
県コミッショナー 井建

日本ボーイスカウト青森県連盟

連盟長 三村申吾
副連盟長 葛西堯
理事長 根岸英樹
副理事長 稲見健一
事務局 川島利茂

日本ボーイスカウト岩手連盟

連盟長 南部利文
副連盟長 末永正志
理事長 山崎義勝
副理事長 奥田耕一
副理事長 及川晋二
事務局 向井田敏宏



連盟長 佐竹敬久
副連盟長 安田孝司
理事長 田村広美
副理事長 鶴田有司
事務局 鈴木真一
事務局 三浦仁
事務局 吉田稔行
事務局 会津万里子

日本ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村井嘉浩
副連盟長 芳賀文藏
理事長 日下清邦
副理事長 菅野五郎
事務局 中橋浩伸

明日へ!

北海道・東北ブロック協議会

北海道連盟 秋田県連盟
青森県連盟 山形県連盟
岩手連盟 福島連盟
宮城県連盟

会長 根岸英樹
副会長 山崎友清
監事 高橋延勉
ブロック協議会 高橋裕
ブロック協議会 高橋裕

ボーイスカウト山形県連盟

連盟長 吉村美栄子
副連盟長 佐藤孝弘
理事長 大沼大蔵
副理事長 齋藤裕樹
事務局 大江正博

日本ボーイスカウト福島連盟

連盟長 内堀雅雄
副連盟長 増子恵二
理事長 高崎友延
副理事長 高橋文郎
事務局 丹治恵喜子

公益財団法人

日本ボーイスカウト栃木県連盟

連盟長 福田富一
副連盟長 阿久澤真理
理事長 白澤嘉宏
副理事長 相馬啓二
事務局 池上正美
事務局 白澤正年

日本ボーイスカウト茨城県連盟

名誉連盟長 大井川和彦
名誉顧問 関竹本
顧問 八木田
連盟長 吉佐中
副連盟長 河宮合田
先達 林城
理事長 若八
副理事長 林大次郎
県コミッショナー 田浦俊
事務局 田俊

(一社)日本ボーイスカウト神奈川連盟

連盟長 黒岩祐治
副連盟長 佐野友保
理事長 濱田雅弘
副理事長 坂本健隆
事務局 清水裕志
事務局 小分正由

(一財)ボーイスカウト神奈川連盟維持財団

理事長 清水良夫
副理事長 青柳進
事務局 根田一男
事務局 吉新井貴

日本ボーイスカウト埼玉県連盟

連盟長 大野元裕
副連盟長 清水勇人
理事長 牛山久逸
副理事長 細井京政
事務局 斎藤和之彦
事務局 中牟田雅也

日本ボーイスカウト山梨連盟

連盟長 長崎幸太郎
副連盟長 中澤覚
理事長 河野潤弘
副理事長 新田雅弘
事務局 石橋隆秀

日本ボーイスカウト群馬県連盟

連盟長 山本一太
副連盟長 河内川正由
理事長 大河松富雄
副理事長 高藤健俊
事務局 藤井文
事務局 小倉豊人

公益財団法人群馬県ボーイスカウト振興財団

理事長 奈良橋俊宏

ボーイスカウト埼玉県育成会

会長 井川実彦
常任顧問 井川武孝
会長代行 井川二望
副会長 井川明夫

日本ボーイスカウト新潟連盟

連盟長 花角英世
理事長 五十嵐陸雄
副理事長 平田則行
事務局 清水修

迎春 弥 栄

日本ボーイスカウト千葉県連盟

公益財団法人 日本ボーイスカウト千葉県連盟維持財団
連盟長 萩原博
副連盟長 高橋昭二
理事長 木村政夫
副理事長 伊藤知夫
理事長 片平紀行
副理事長 片間隆之
理事長 野中浩明
副理事長 野中浩章
理事長 高橋雅彦
副理事長 小川信一
理事長 高橋裕
副理事長 高橋裕
理事長 高橋裕
副理事長 高橋裕



令和5年・2023年 東京連盟創立75周年を迎えます

一般社団法人日本ボーイスカウト東京連盟

連盟長 杉原 正
副連盟長 福嶋 正己
理事長 白川 雅之
副理事長 真山 明夫
入江 生夫
神田 幸博
井沢 啓一
真山 明夫
副理事長 高橋 聖
中田 昇
唐澤 弘至
佐藤 武信
地区代表理事
肥沼 裕史
増田 嘉郎
熊坂 博幸
才郷 正次
志賀 宏昭
佐々木 まさ子
比地原 直美
永島 啓介
岡野 健太
公益財団法人
日本ボーイスカウト
東京連盟維持財団
理事長
倉石 誠司
常務理事
石井 茂
業務執行理事
堀江 建治

日本ボーイスカウト京都連盟

連盟長 西脇 隆俊
副連盟長 柳澤 傳 篠田 常生
理事長 面村 伸次
副理事長 田中公 郎 津田 繁
中川 久徳
理事 岡本 幸三 檜原 良
今井 徹 栢森 隆平
荒樋 良雄 熊井 猛浩
猪岡 敏一 西田 章夫
武田 誠二郎 松田 美歌
三木 一暁
県コミッショナー 谷口 平八朗
副コミッショナー 高橋 一郎 河合 敏晃
金子 晋也 鈴木 峰子
名誉会議員 濱上 眞治 津田 容太郎
柴 佳伸 辻野 正通
前田 健世 中島 齋
監事 林 弘 清水 博
事務局長 浅川 栄治郎

一般社団法人
日本ボーイスカウト愛知連盟

名誉連盟長 大 村 秀 章
名誉副連盟長 大河 村 たか
連盟長 岡 谷 篤 一
副連盟長 船 橋 鐸 夫
神 木 市 男
理事 永 井 昭 淳
副理事長 井 上 勲
氏 家 邦 政治
柳 原 孝 政治
県コミッショナー 長 谷 川 榮 一

日本ボーイスカウト石川県連盟

連盟長 馳 浩
理事長 野 田 政 弘
県コミッショナー 稲 葉 豊

日本ボーイスカウト福井連盟

連盟長 杉 本 達 治
理事長 前 川 俊 弘
一般財団法人ボーイスカウト福井連盟維持財団
代表理事 山 崎 幸 雄

日本ボーイスカウト三重連盟

連盟長 一 見 勝 之
理事長 柴 田 伸 彦
県コミッショナー 柴 正 木 靖 宏
事務局長 服 部 清 久 司

日本ボーイスカウト岐阜県連盟

連盟長 古 田 肇
副連盟長 木 村 和 幸 副連盟長 安 田 勝
理事長 三 浦 英 夫 副理事長 日 比 野 正 治
副理事長 木 村 芳 郎 県コミッショナー 日 比 野 守
事務局長
一般財団法人 日本ボーイスカウト岐阜県連盟育成会
理事長 辻 慶 一 常務理事 安 藤 清 貴

日本ボーイスカウト長野県連盟

連盟長 阿 部 守 一
副連盟長 出 田 行 徳
理事長 花 岡 浩 司
副理事長 塚 田 光 司
遠 藤 是 清
県コミッショナー 武 藤 清 孝
ディレクター 松 下 真 文
事務局長 三 枝 昭 文

謹賀新年 日本ボーイスカウト兵庫連盟

連盟長 齋 藤 元 敏
副連盟長 山 田 明 輝
理事長 黒 田 佳 一
副理事長 森 地 夫 茂
高 北 真 志
延 行 真 志
能 登 祐 郎
青 木 教 至
小 谷 重 男
赤 松 由 久
池 澤 榮 次 郎
片 山 紀 彦
志 茂 邦 彦
谷 垣 憲 彦
讚 岐 等
木 下 弘
笠 原 章 雄
藤 田 智 之
小 玉 一 夫
遠 藤 航
事務局長 辻本 誠
(二財)兵庫県ボーイスカウト振興会
理事長 名 越 亮
常務理事 高 橋 正 幸
理事 南 秀 生
中 村 謙 二
北 方 茂
松 尾 光 明
長 八 洲 翁
南 芳 樹
監事

日本ボーイスカウト香川連盟

連盟長 松 平 頼 武
理事長 岩 井 敏 恭
県コミッショナー 今 岡 秀 真
事務局長

日本ボーイスカウト山口県連盟

連盟長 村 岡 嗣 政
理事長 友 田 宏 幸
県コミッショナー 小 上 橋 村 克 哉
事務局長

日本ボーイスカウト鳥取連盟

連盟長 浦 島 勉
副連盟長 田 高 嶋
理事長 堀 部 晴 彦
副理事長 森 脇 昇
事務局長 河 野 信 一 郎

日本スカウトライオンズ
Japan Scouting Lions

会長 伊賀保夫 (東京北 RC)
副会長 鬼塚正之 (川越初雁 LC)
名誉顧問 菅原雅雄 (東京浜町 LC)
顧問 大石和夫 (東京青山 LC)

名誉会員 逢沢一郎 (岡山もたろう LC)
名誉会員 奥島孝康 (ボイススカウト日本連盟)
名誉会員 山浦成輝 (昭島新 LC)

代表理事 津川勝男 (東京大森 LC)
理事 田基弘 (昭島南 LC)
黒中義久 (東京中野 LC)
田尻紀夫 (東京目黒 LC)
千葉利昭 (秋田山王 LC)
坪井喜久太 (岡山吉備 LC)
浦島勉 (鳥取久松 LC)

参与会員 寺越慎一 (広島平野 LC)
岡村聖爾 (下関北 LC)
戸宮秀昭 (元日本海軍職員)

幹事長 松尾和英 (東京五反田 LC)
副幹事長 中山道則 (昭島心 LC)
中村山正 (東京西原 LC)
五十野和也 (東京青山 LC)

会計 谷俊徳 (大阪新秀 LC)
監事 稲垣秀明 (大阪新秀 LC)
評議員 福田雅之 (大阪新秀 LC)

事務局 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
公益財団法人ボイススカウト日本連盟内

Rotary

日本スカウトロータリアン

会長 松平頼武 (東京北 RC)
副会長 犬飼康元 (松本 RC)
佐野友保 (秦野中 RC)
水野正人 (東京 RC)
鈴木木田秀男 (東京王子北 RC)
太田幹浩 (西尾一色 RC)
高山田明良 (西宮夙川 RC)
高戸見篤志 (大阪天王寺 RC)
増田嘉一郎 (横浜旭 RC)

問合せ・入会申込先/日本連盟事務局内
tel: 03-6913-6262 fax: 03-6913-6263
e-mail: hello@scout.or.jp

新春 彌 栄
創始以来67年目の
日本オールドスカウトクラブ

名誉会員 三石島田昌智 (唐招提寺第八十七世前長老)
相談役 大村松石山平井村合村藤月井田
会長 大村松石山平井村合村藤月井田
副会長 大村松石山平井村合村藤月井田
世話人 大村松石山平井村合村藤月井田

代表取締役 三石島田昌智 (唐招提寺第八十七世前長老)
代表取締役 三石島田昌智 (唐招提寺第八十七世前長老)
代表取締役 三石島田昌智 (唐招提寺第八十七世前長老)

謹賀新年

パロアルトネットワークスは、
新チャレンジ章
「サイバーセキュリティヒーロー」の支援含め、
ボイススカウト運動を応援致します。



パロアルトネットワークス株式会社
<https://www.paloaltonetworks.jp/>

謹賀新年

待ちきれない明日を!

Great, Amazing, Brilliant, Fantastic, Wonderful, Cool, Wow!, Exclerent

ゴゴカレーガールズ

・ゴゴカレー ・ターバンカレー
・ホットハウス

代表 宮森宏和
東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2階

謹賀新年

Yakult

株式会社ヤクルト本社
常務執行役員 榎良昌利
〒105-8660 東京都港区海岸1-10-30
tel: 03-6625-8938 fax: 03-6747-8020

感動の場を創造することで、
ボイススカウト活動を応援しています。

TSP TSP太陽株式会社

東京本社: 〒153-0043 東京都目黒区東山1-17-16
事業所: 札幌・東北・福島・栃木・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・石川・三重・滋賀・奈良・和歌山・岡山・広島・山口・福岡・佐賀・鹿児島

2023年も、週一回のweb定例会で連帯を絶やさず
明日のスカウティングをより良きものに!

チーム★ダーチョ

幹事長 前田智恵子 (神奈川)
幹事 西川基裕 (岐阜)
" 木下史郎 (滋賀)
" 河原永真 (京都)
" 徳寄田樹美 (兵庫)
" 白川龍彦 (兵庫)
" 藤村淳子 (奈良)
BBQ 神白正也 (大阪)
顧問 白井康雄 (大阪)

お問い合わせ→do_it_dahcho@yahoo.co.jp

VICTORINOX

ピクトリノックス銀座店限定
「ボイススカウト機関誌を見た」とお伝えいただくと
名入れ彫刻を無料サービス致します。
※対象モデル/フィールドマスター

03-5537-5832 通販可
info.ginza.jp@victorinox.com

TRY CO., LTD
株式会社トライ

代表取締役 立川勝得

謹賀新年

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico

江崎グリコ株式会社は
ボイススカウト運動を応援しています

謹賀新年 2023

EIWA エイワのマシュマロ

株式会社エイワ <https://www.eiwamm.co.jp/>

スカウトと教育 新刊号 2021年5月
スカウトと教育 第2号 2021年9月
スカウトと教育 第3号 2022年5月

雑誌「スカウトと教育」編集部

sukakyo.org 年2回(5・11月)発行 原稿募集中
連絡先 sukakyo.org@gmail.com

本欄掲載にあたりご支援くださった方々(敬称略・五十音順)
伊澤真志 遠藤一馬 北川葉穂子 木下貴博 黒澤岳博 志賀結之 庄司健 竹村和久 田中つづみ 中島豊 松岡悠和 他4名

IRP 国際航空写真株式会社

代表取締役 早川太郎

彌 栄

PVC パシフィックヴィジョン株式会社
代表取締役社長 笹沢明宏

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆様です。

ご支援ありがとうございます

2022年 9~10月度

【北海道】

齊藤 満
長岡 正彦
高野 ひとみ
吉岡 優二
BS釧路地区協議会

B S 蕨 2
BSさいたま219
BSさいたま208
BSさいたま204育成会

【千葉】

根本 孝英
森屋 啓
神谷 義文
曾根 博
高橋 雅彦
河辺 尚孝
榎間 隆之
堀田 清乃
BS松戸8育成会

【茨城】

根岸 進一
小畑 修平
田中 智
大熊 重男
河村 育雄
石川 雄司

【栃木】

足利 靖之
木村 寿宏
立 和郎
清水 裕
木下 篤芳

【埼玉】

浅倉 祥弘
高橋 寿郎
藤倉 幸親
井上 久雄
山本 誠一

【東京】

亀井 素木
船橋 眞一郎
眞山 明夫
岩崎 健三
鈴木 秀男
久米 邦貞
武山 昭英
萩原 泰夫

神田 幸博
大川 昌宏
富麻 好教
久保田 温
金田 一良
村野 和男
原田 明
B S 稲城 1
B S 荒川 6
B S 町田 16
東京建設北多摩地区小平1
BS江戸川13育成会

【岐阜】

日比野 正治
早川 宏治
浅井 剛
佐々木 慶一
神山 勝治
小田 紘敏
柳原 幸一

【新潟】

関 憲一郎
大野 嘉彦
山口 明
星野 電気(株)
新潟総合警備保障(株)

【石川】

馳川 尚基

【福井】

辻 宏明
前川 俊弘
西畑 光廣
笠嶋 義憲
山崎 幸夫
藤嶋 昭二
戸田 武憲

【山梨】

前田 健一
齊川 忠男
柿畑 桂子
赤崎 好治
清水 正喜
高見 和宏
玉木 雅幸
鹿ノ内 秀夫

【長野】

酒井 善秀
矢崎 正幸
窪田 政一

門 誠
BS野井7育成会

【長野】

犬飼 康元
出田 行徳
中村 紘
出田 京子

【岐阜】

日比野 正治
早川 宏治
浅井 剛
佐々木 慶一
神山 勝治
小田 紘敏
柳原 幸一

【新潟】

関 憲一郎
大野 嘉彦
山口 明
星野 電気(株)
新潟総合警備保障(株)

【石川】

馳川 尚基

【福井】

辻 宏明
前川 俊弘
西畑 光廣
笠嶋 義憲
山崎 幸夫
藤嶋 昭二
戸田 武憲

【山梨】

前田 健一
齊川 忠男
柿畑 桂子
赤崎 好治
清水 正喜
高見 和宏
玉木 雅幸
鹿ノ内 秀夫

【長野】

酒井 善秀
矢崎 正幸
窪田 政一

中村 安平
鈴木 新悟
鈴木 利幸
宮崎 洋介
横江 昭憲
川上 次朗
富田 昭則
坂元 正弘
奥田 敏夫
鶴田 恵造
成田 一彦
黒野 剛司
今井 達

【奈良】

辻村 泰範
松浦 幸夫
吉田 甚造

【和歌山】

楠本 章郎
高出 泰宏
群柳 良和
向井 孝朗
平井 純孝
ヤマイチエニハイム
エステート(株)

【滋賀】

伴 忠信
植野 辰則
湯 昌美
B S 犬上 1

【京都】

川西 通夫
八木 茂
田中 公郎
同志社大学
スカウトOG08会

【兵庫】

黒田 茂
平野 進
森地 一夫
清水 秀彦
津崎 仁
上野 康夫

岩槻 末男
奇田 昌宏
辰己 豊
大澤 剛
北方 茂
田中 正憲
枝根 秀男
大古 和子
梅田 華奈
水谷 光明
北井 康裕
大垣 昭博
大平 忠

【奈良】

辻村 泰範
松浦 幸夫
吉田 甚造

【和歌山】

楠本 章郎
高出 泰宏
群柳 良和
向井 孝朗
平井 純孝
ヤマイチエニハイム
エステート(株)

【滋賀】

伴 忠信
植野 辰則
湯 昌美
B S 犬上 1

【京都】

川西 通夫
八木 茂
田中 公郎
同志社大学
スカウトOG08会

【兵庫】

黒田 茂
平野 進
森地 一夫
清水 秀彦
津崎 仁
上野 康夫

【広島】
伊藤 雅哉
羽原 文男

【山口】

友田 宏幸
弘中 勝利
赤松 泰城
田子 薫

【徳島】

廣瀬 民義
楠本 育生

【香川】

松平 頼武
植野 雅信
岡 真一

【愛媛】

B S 松山 16
阿津坂 秀人

倉成 佳代子
青谷 麻紀子
中村 和輝
小田 幸三
結城 利章
小田 房江
B S 北九州 1
BS福岡15育成会
(尚)光和ネットワーク

【佐賀】

吉原 良輔
(尚)上海整形外科クリニック
(株)米田薬品 米田均

【長崎】

(尚)光善会長崎百合野病院

【宮崎】

村川 保訓
児玉 英敏

【鹿児島】

岡積 弘幸

【日本】
平岡 昌高
向田 吉彦
柳 茂久
山口 英一
井上 誠一郎
辰野 勇
西村 稔
日本BSアマ無線クラブ
全国神社スカウト協議会
浄土真宗本願寺派
スカウト指導者会
T S P 太陽(株)
日本管財(株)
パンフィクヴィジョン(株)
キッコーマン(株)
東洋紡せんい(株)
(株)インターナショナル
ビルメンテナンス

マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

9~10月に入会または1年継続された方々です。

【宮城】 横澤 繁	【富山】 東海 直樹	佐々木 信吾
【福島】 関口 榮幸	【静岡】 小林 透	【兵庫】 田中 良幸
【埼玉】 佐藤 哲也	【愛知】 竹山 勉	【奈良】 鹿野 修
【東京】 木村 公一	早川 権慈	【大阪】 平 喜人
川村 健司	鈴木 勝	【日本】 三和 千里
笹淵 真子	佐藤 博則	嘉根 徹
【新潟】 鈴木 隆之	【京都】 吉田 克彦	

訂正とお詫び 機関誌2022年11月号におきまして、下記の方を同姓の別の方と誤って記載いたしました。深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正内容を記載させていただきます。
 正 兵庫連盟 高田 真志さん 正 兵庫連盟 高田 幹生さん
 ※なお、高田 真志様は維持会員として本誌9月号にて紹介させていただいています。

2023 No.754 3 次号予告
 次号の『スカウティング』は、令和5年3月1日発行

いざ、新時代へ

— ボーイスカウトにおける青少年教育の現在地

昨年春に文部科学省が「体験活動推進重点改革3か年」を発表し、今年はその2年目にあたります。社会のさまざまな課題に対してボーイスカウトはどう青少年を支援していくのか、最新情報をお届けします

なんでも投稿先
 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局 『スカウティング』投稿係
 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
 電話 03-6913-6262 (代表) Eメール scouting@scout.or.jp

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
 『スカウティング』2023年1月号 No.753 令和5年1月1日発行
 発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局『スカウティング』担当にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくは日本連盟 Web サイト <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2022/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局広報担当(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

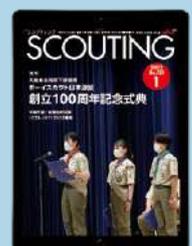
日本連盟Webサイト <https://www.scout.or.jp>

SCOUTING

デジタル配信しています!

機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。

URL:
<https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

限定200個 2023 福袋販売!

大好評につき、福袋の販売が決定いたしました! 何が入っているかは、開けてからの楽しみ。また、2023年の干支であるうさぎをモチーフにした、限定デザインのワッペンが付いてくるのに加え、限定デザインのトートバックに入れてお届けします!

販売価格: 7,700円(税込) 購入は SCOUT SHOP JAPAN にて <https://www.scoutshop.jp/>



※画像はイメージです



★限定デザインのワッペンとトートバックがついてくる!

Scouting Is



Scout Calendar 2023



スカウトカレンダー 2023

今年のスカウトカレンダーのテーマは「SCOUTING IS SMILE-スカウティングイズスマイル-」。スカウトたちの笑顔に焦点を当てた写真を中心にピックアップして制作しました。

また、100周年を越えて新しい時代へ向かっていくスカウトたちの夢をインタビューした、特別ページもついています。

現在、SCOUT SHOP JAPAN 他にて販売中です。

販売価格: 858円(税込)

25WSJ 派遣団グッズ 一部商品の一般販売決定!

2023年夏に韓国にて開催される第25回世界スカウトジャンボリー(25WSJ)の派遣団グッズの一部を、一般の方々にもご購入いただけることになりました。多数の応募作品の中から選ばれた、公式大会ロゴを用いた派遣団支給ワッペンのレプリカバージョンや、チーフリング、ピンバッチなどの販売を予定しています。詳細は、順次 SNS やメルマガ、次号以降の本誌などで発信しますので、要チェックです。派遣団以外のスカウトも、派遣団グッズを付けて一緒に25WSJを盛り上げましょう!

※画像はイメージです



◀一般販売向けレプリカワッペン



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan

各商品の発売情報や詳細は、各販売協力店や、ホームページ、各種 SNS、ONLINE SCOUT SHOP のメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。

無線通信機器で 全国のスカウト活動をサポート。



アイコムは、アマチュア無線機器を中心に無線通信機器を提供することで、全国のスカウト活動をサポートしています。また、技術支援を通じて、スカウトの皆様の無線技術の習得にも貢献しています。

屋外にも持ち出せる コンパクトトランシーバー

高度な運用も楽しめる 多機能トランシーバー

屋外での活動に最適な 携帯型トランシーバー



HF+50MHz+144MHz+430MHz
<SSB/CW/RTTY/AM/FM/DV>
10Wトランシーバー (GPSレシーバー内蔵)

IC-705



HF+50MHz
<SSB/CW/RTTY/AM/FM>
10Wトランシーバー

IC-7300S



144/430MHz
デュアルバンド5W
デジタルトランシーバー
(GPSレシーバー内蔵)

ID-52

アマチュア無線なら、仲間同士はもちろん、日本全国、世界各国と交信することができます。アマチュア無線を楽しむためには、免許が必要ですが、小学生の低学年の子供たちも、免許を取得していますので、それほど難しいことはありません。詳しくは資料をご請求ください。▶▶▶

希望の方は、ハガキに、住所、氏名、年齢をご記入の上、〒547-0003 大阪市平野区加美南 1-1-32 アイコム(株) ボーイスカウト会報誌「SCOUTING」係まで、製品カタログをご希望の方は製品名をご記入ください。

詳しい資料を
差し上げます。

